幼馴染は繋がりたい
~有彩編~
千氏夜
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

おーい
ケンちゃん愛ちゃん
一緒に帰ろ～
おー有彩
支度するから
待ってろ
俺と愛と有彩の
3人は昔からの
幼馴染みだ

そういや来週
テストだし俺の家で
一緒に勉強しようぜ
うぐっ
そうだった…
お願いします

ごめーんアタシ
今日は生徒会だから
一緒に帰れないわ～
だがこの関係が
最近崩れつつある
気がする…

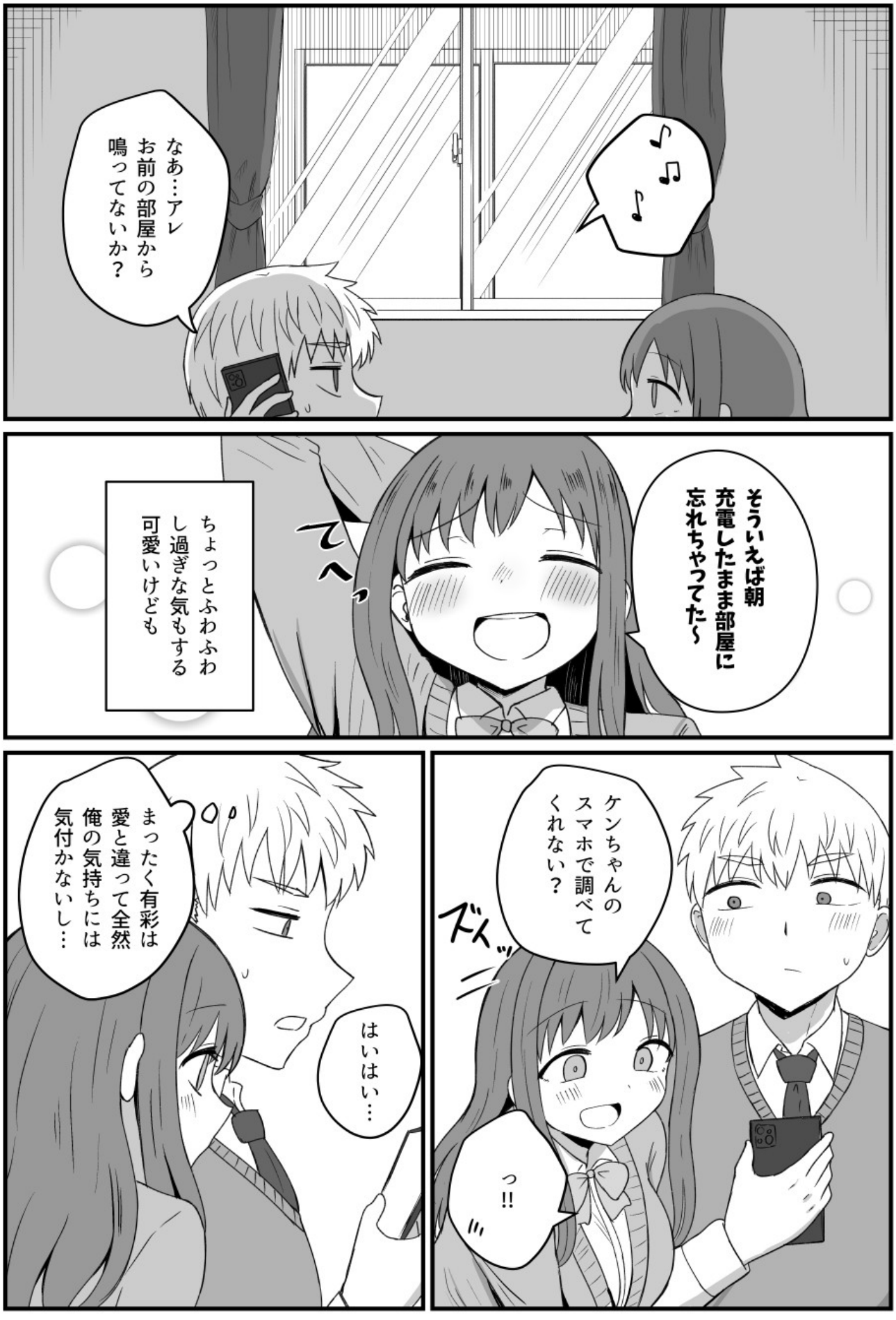
健太郎良かったね～
これで二人っきりで
勉強出来るよ～
あっでも
二人きりだから
って変な勉強
しちゃ駄目だよ～
なっ!?

え…
変な勉強？
わ～～～～っ
何でもないから！

じゃあね～
早く終わったら
そっちに合流
するから！
愛め…

？
あいっ絶対気づいてる…
俺が有彩のこと
好きだってことを…

愛ちゃん
すごいよね～
あんなに忙しそう
なのに勉強も出来て
え…ああ
そうだな…
うーん
何だこれ
ん～～
分かんない～
くそっ愛のやつ…
一体いつ俺が有彩を
好きだと気づいたんだ…
ずっと隠してたのに…
それにしても
有彩は今日も可愛いな
まるで天使のようだ
んー…ケンちゃん
ここの答え分かる？
教科書読んでも
よく分からなくて…
あー世界史か…
俺もよく分からん…
スマホで調べて
みたらいいかも
ん
分かった
あれ～？
スマホどこだろ
ケンちゃん
鳴らしてみて～
ったく
しょうが
ないな～
♪
有彩は抜けてる
というかいつも
ふわふわしている
そこも可愛い
お…
鳴ってる


♪♪♪
なあ…アレ
お前の部屋から
鳴ってないか？
そういえば朝
充電したまま部屋に
忘れちゃってた～
てへっ
ちょっとふわふわ
し過ぎな気もする
可愛いけども
ケンちゃんの
スマホで調べて
くれない？
ズイッ
っ!!
はいはい…
まったく有彩は
愛と違って全然
俺の気持ちには
気付かないし…

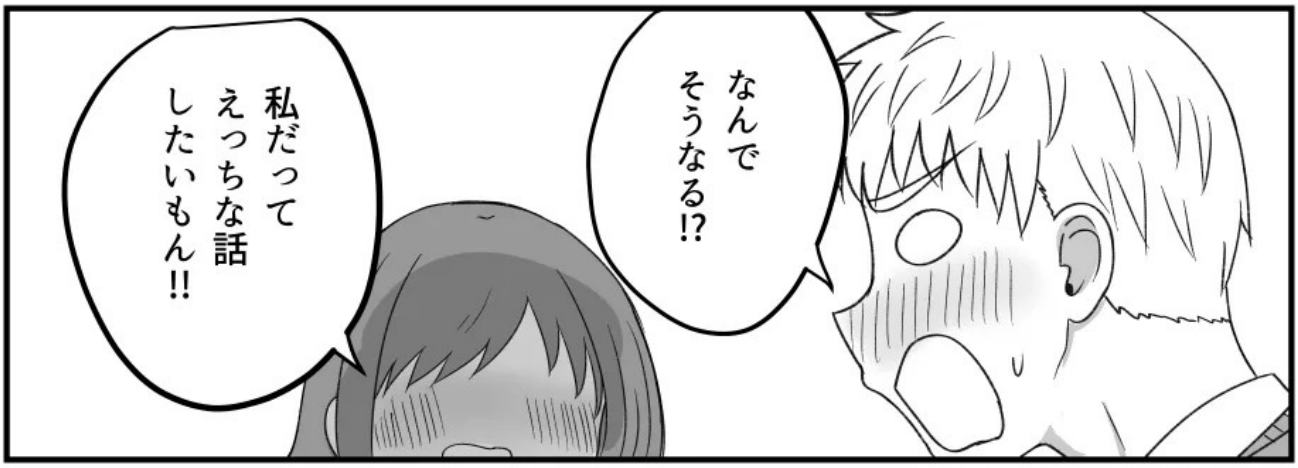
まあでもこのまま
幼馴染みとしてずっと
仲良いままなでも――
お
キャンセル
お
おっぱい エロ
おっぱい でかい
おっぱい

『おっぱい　エロ』

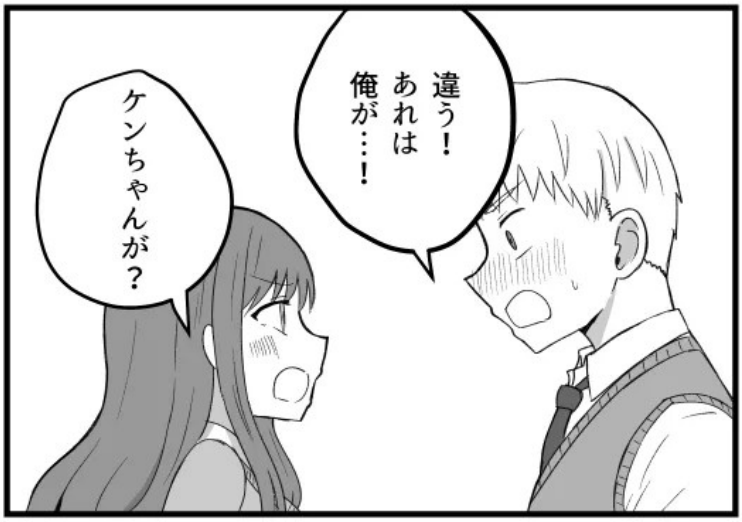
ケンちゃん…
待ってくれ！
違うんだこれは！
こういうのは勝手に
表示されるやつで
でもこのマークが
あるやつは自分で
調べたのだって
愛ちゃん言ってた
くそっ愛め
余計な
入れ知恵を…
じ～～～
健太郎いま
おっぱい見てたでしょ
えっち～
見てねえよ!!
お
キャンセル
お
おっぱい エロ
おっぱい でかい
おっぱい
変な勉強しちゃ
駄目だよ～
!!

もしかして
変な勉強って
えっちなこと!?
やば――い!!
有彩の勘が急に
冴え渡ってしまった!!
まさか愛ちゃんと
二人のときに
えっちなことを…
してない!!
じゃあなんで
私には隠そうと
してたの?
それは有彩に
変な話聞かせたく
なかったからで…
でも二人だけで
通じ合ってて
楽しそうだった…
いやそれはあいつが
俺をからかって
楽しんでただけで…
私も
知りたい…

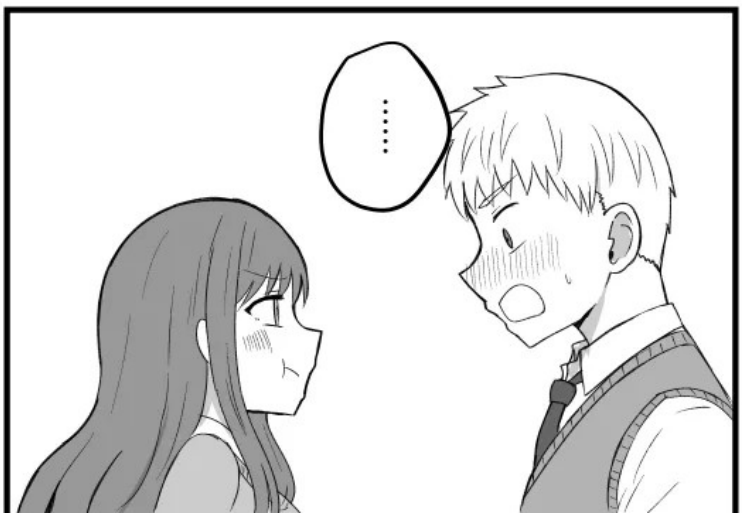
私にも
えっちなこと
教えて


なんで
そうなる!?
私だって
えっちな話
したいもん!!

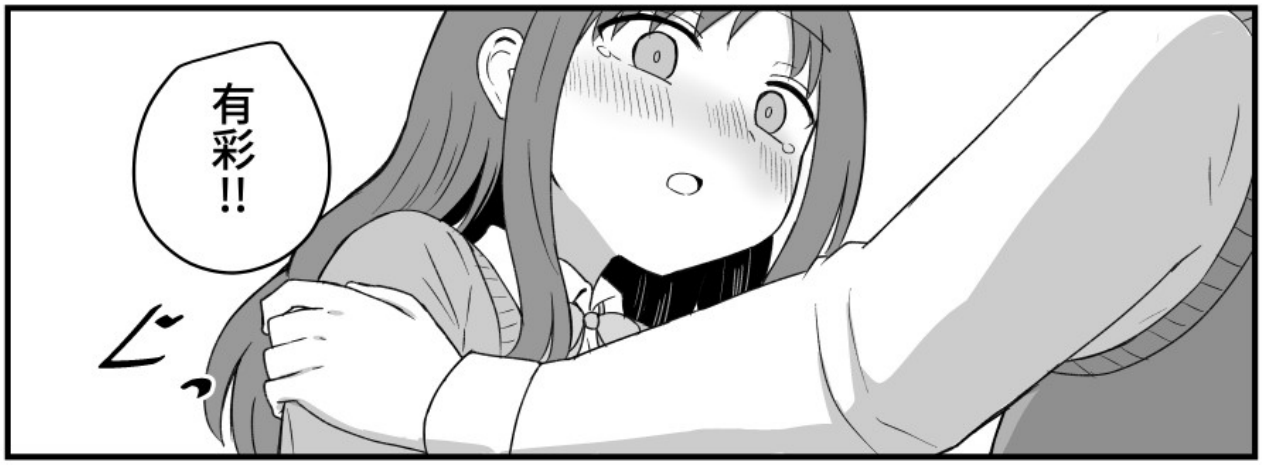
最近二人が
私抜きでよく
喋ってて
すごく楽しそう
なのに私は混ぜて
くれないのは
私がえっちなこと
何も知らないから
なんでしょ?

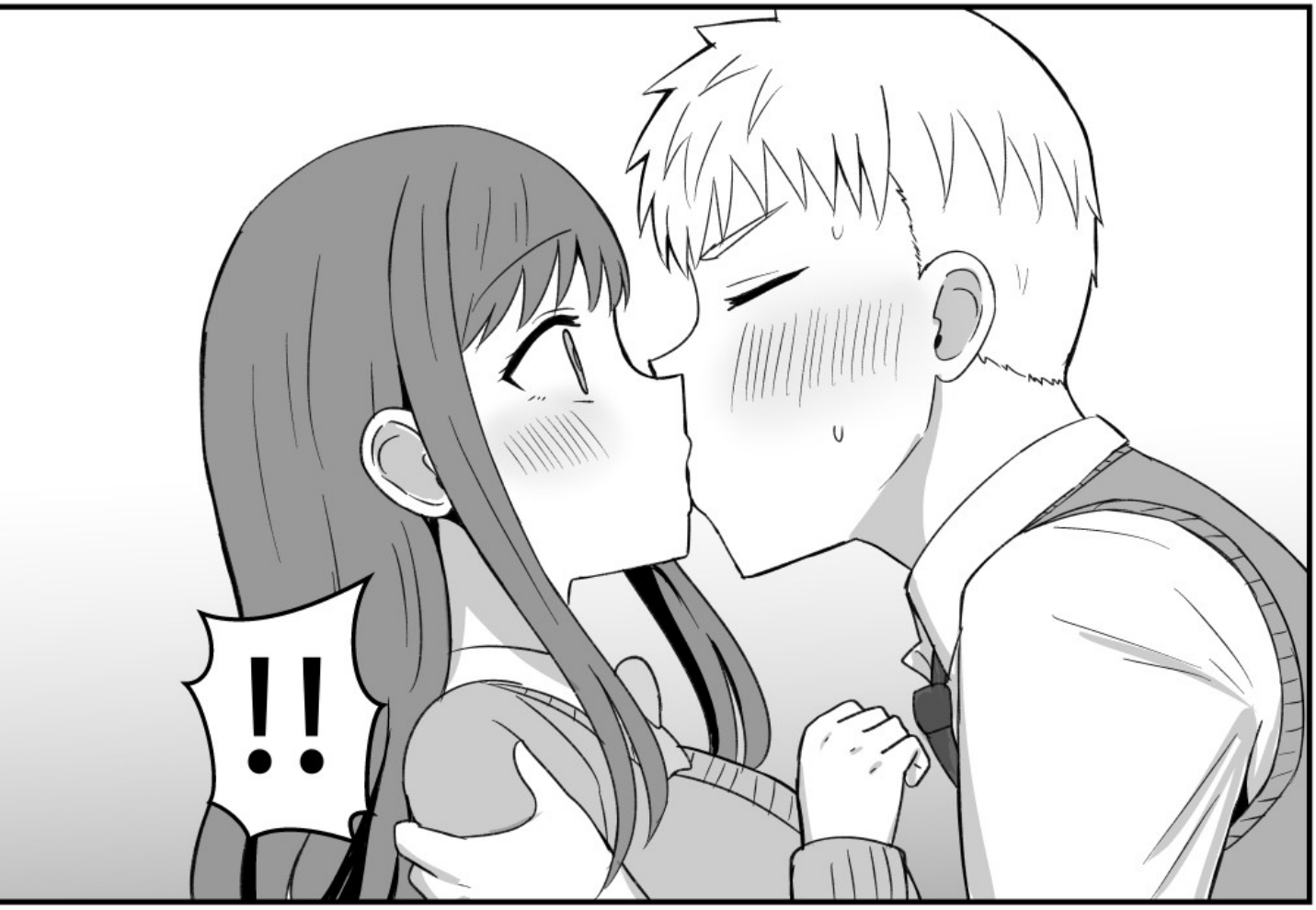

違う!
あれは
俺が…!
ケンちゃんが?

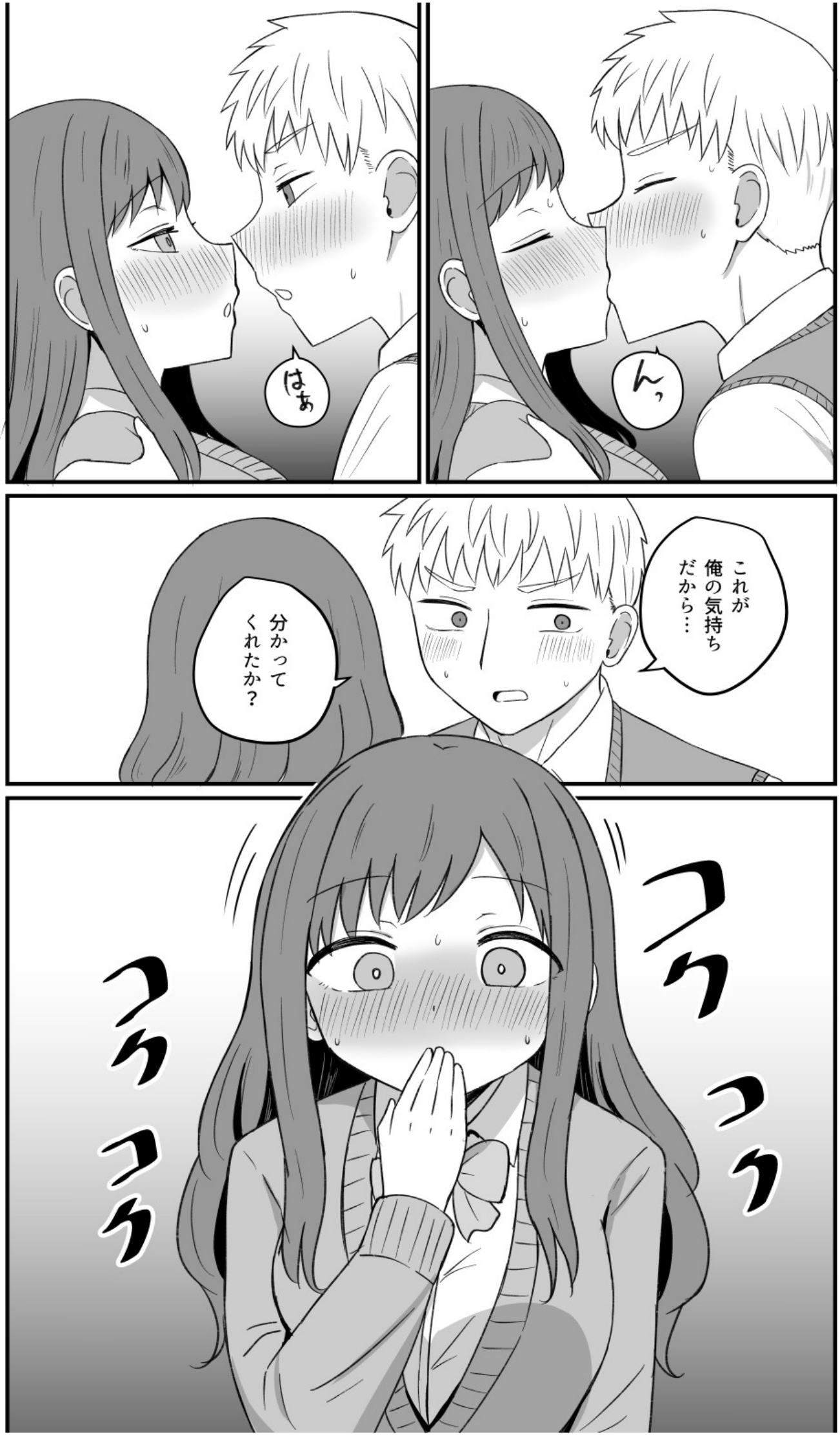
別に有彩には
関係ないことだし
気にするなよ…

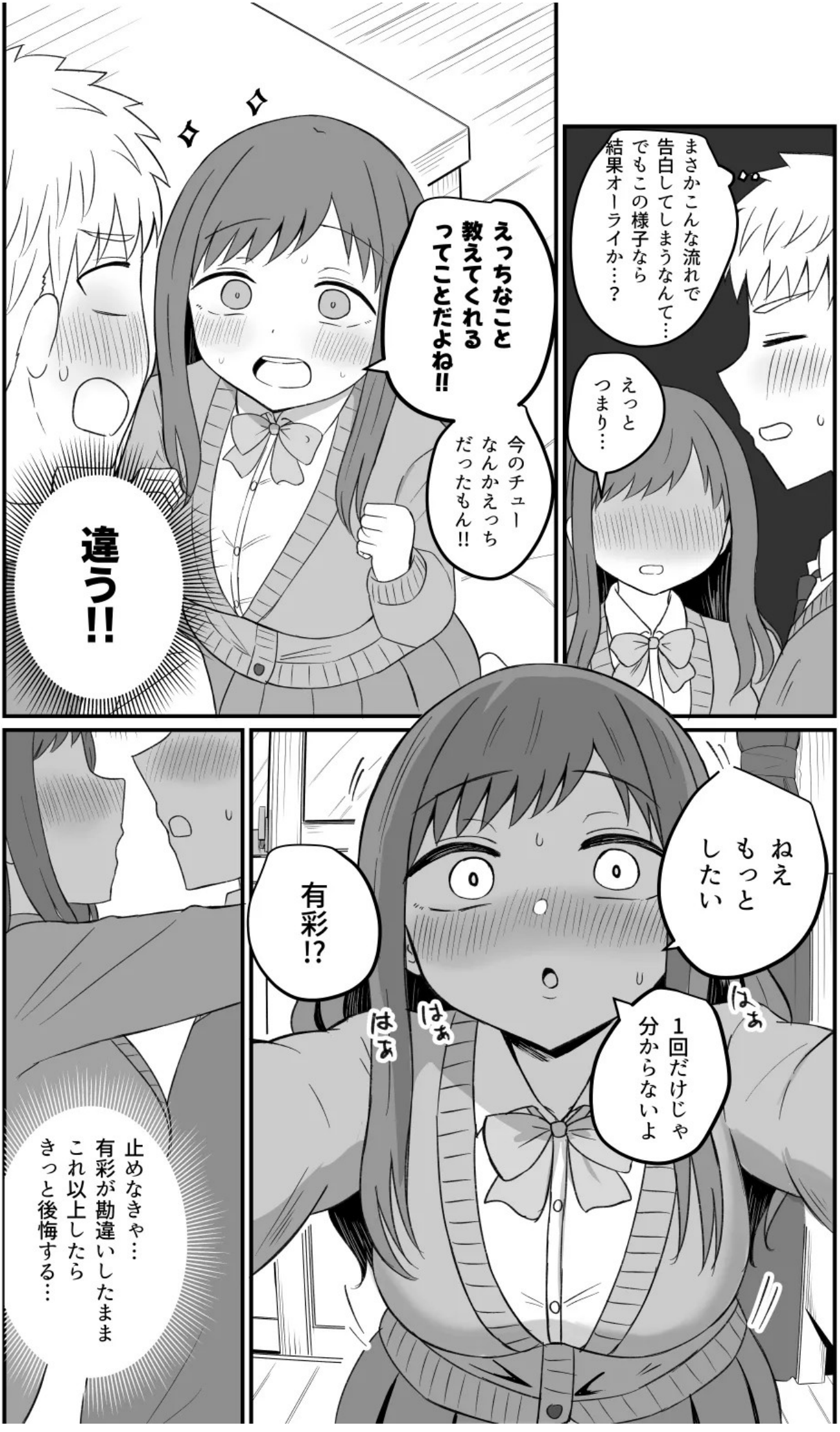

……

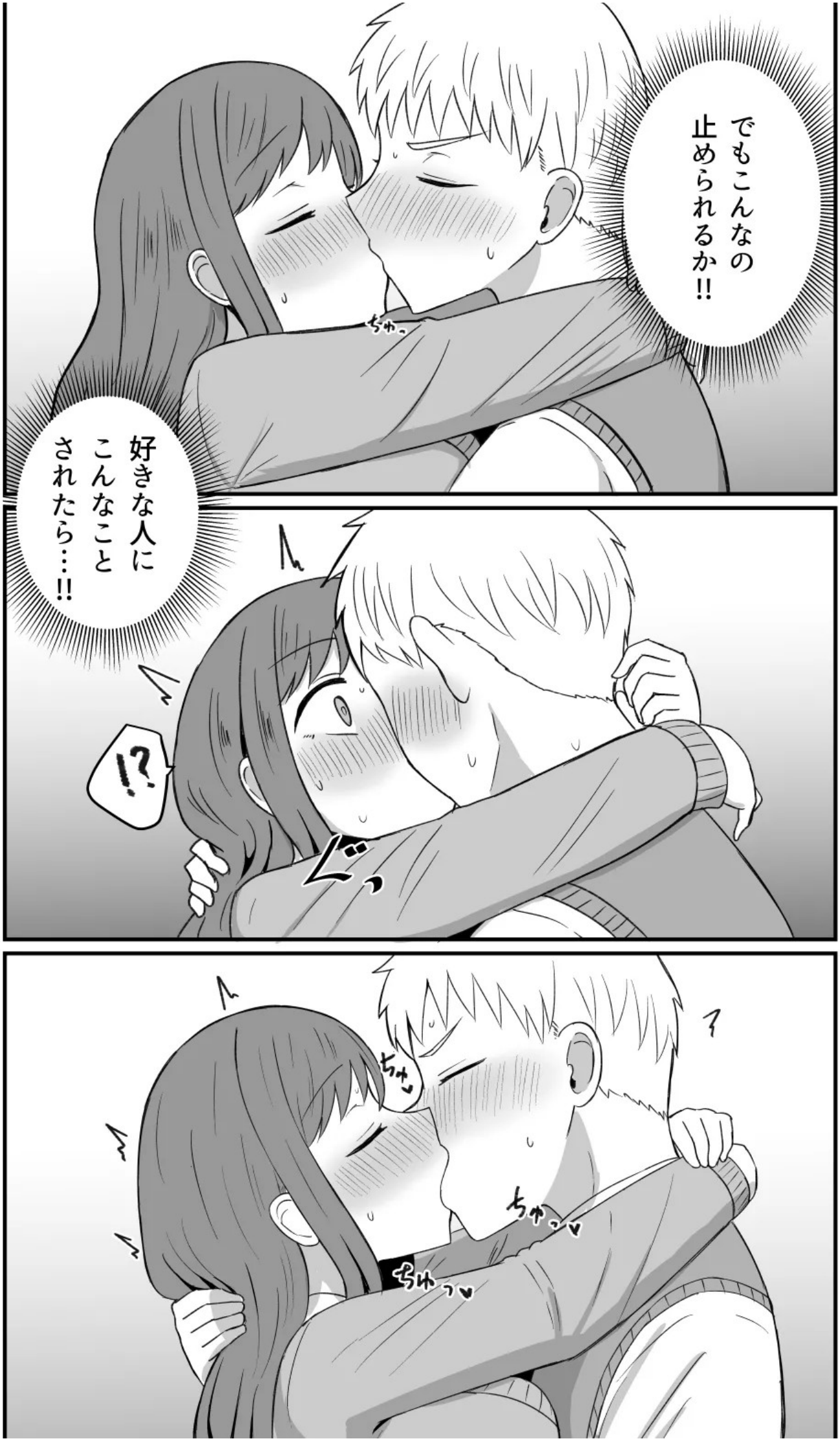
…ごめんね
ケンちゃん
えっなんで
謝る…？
私二人の邪魔
してたよね…
いや…
私ずっと子供っぽいし
二人にずっとくっついて
足手まといだったよね
違…
二人とも大人で
今まで私に合わせて
くれてたんだよね…
ホントは私じゃなくて
愛ちゃんと二人きりが
良かったよね…


有彩!!
ど


!!

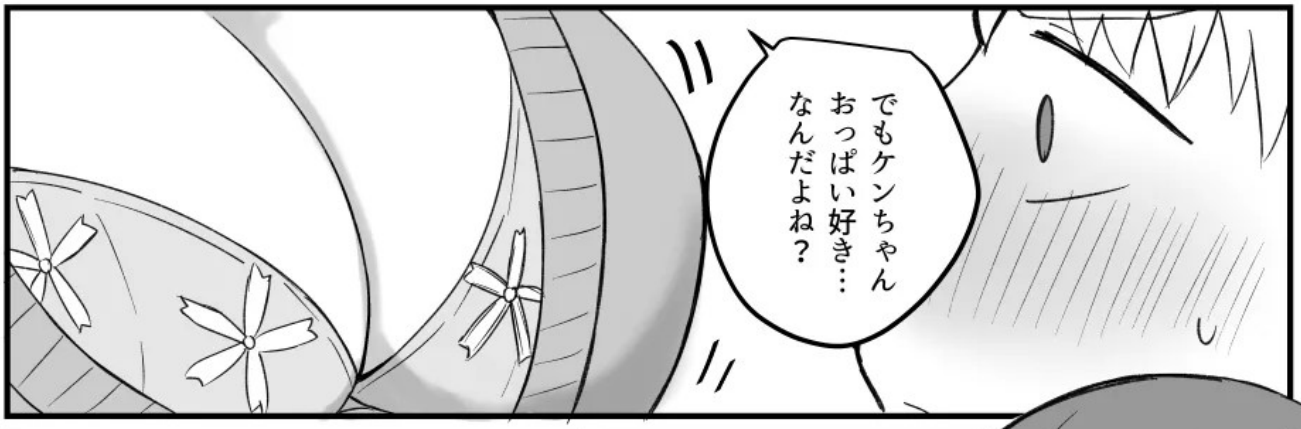

はぁ
んっ
これが俺の気持ちだから…
分かってくれたか？
コクコクコクコク

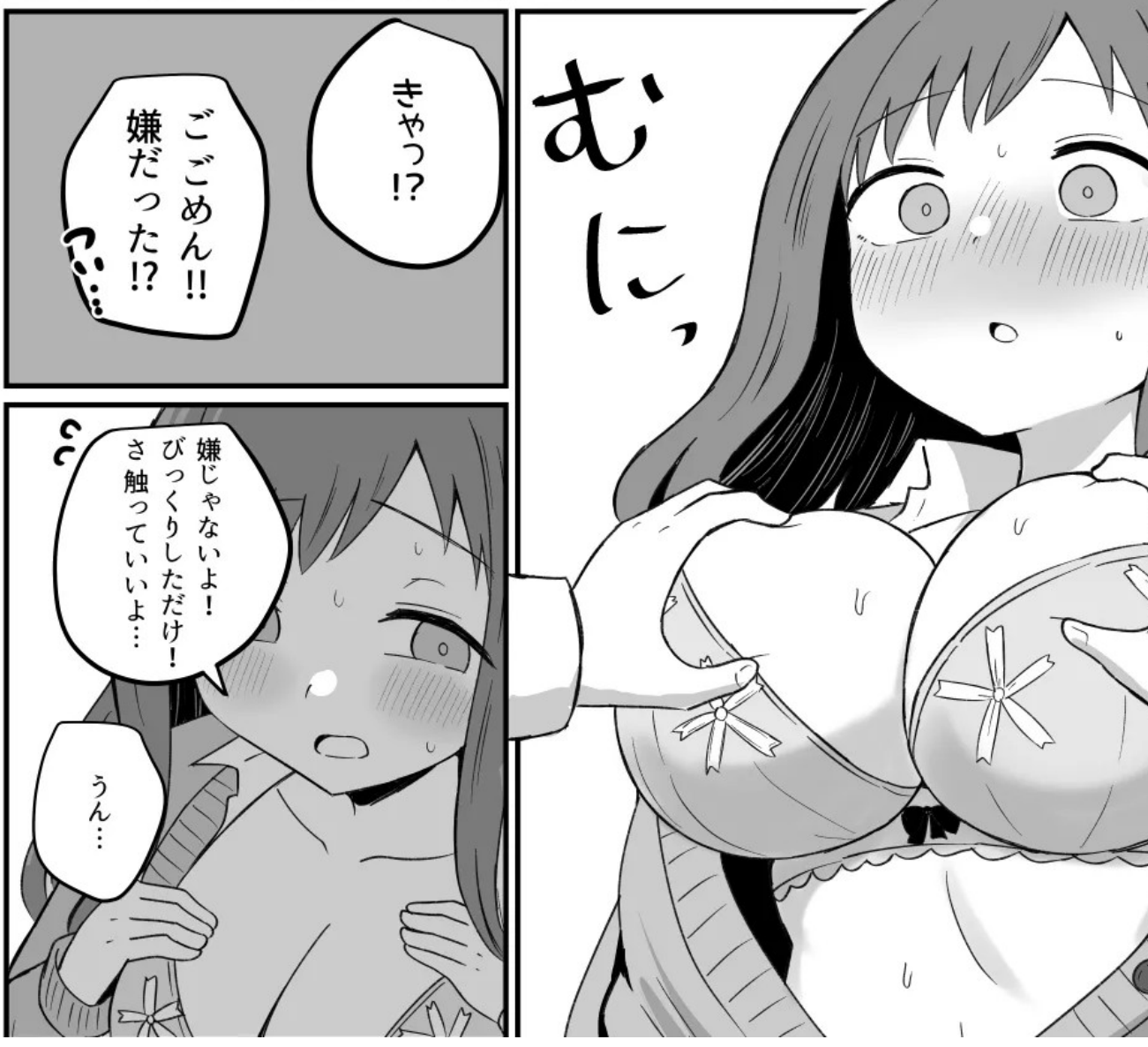

まさかこんな流れで告白してしまうなんて…
でもこの様子なら結果オーライか…？
えっと
つまり…
えっちなこと教えてくれるってことだよね!!
今のチューなんかえっちだったもん!!
違う!!
ねえ
もっと
したい
1回だけじゃ分からないよ
はぁ
はぁ
はぁ
有彩!?
止めなきゃ…
有彩が勘違いしたまま
これ以上したら
きっと後悔する…

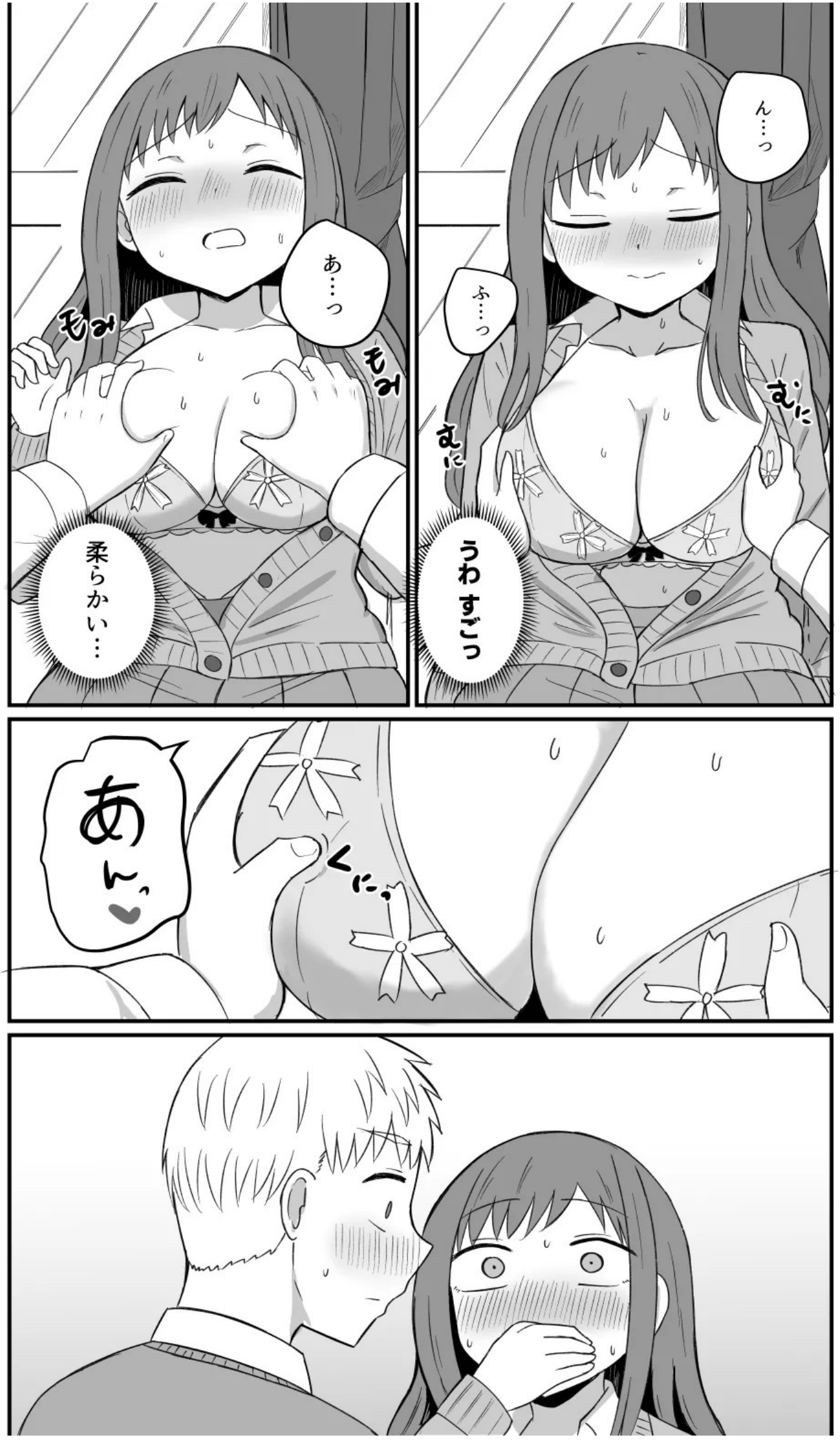

でもこんなの
止められるか!!
ちゅっ
好きな人に
こんなこと
されたら…!!
!?
ど
ちゅっ
ちゅっ♡
ちゅっ♡

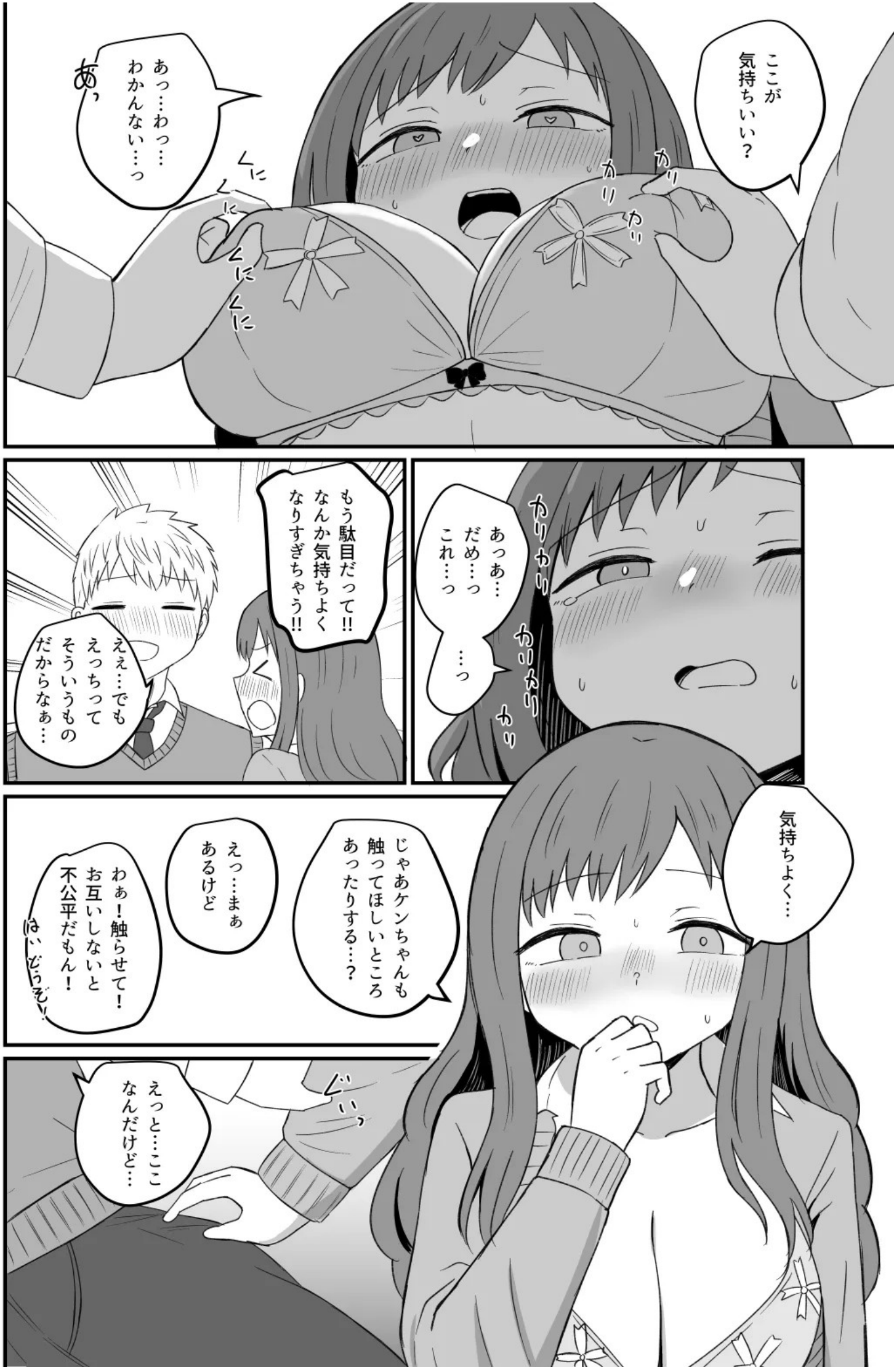
はぁ
はぁ
はぁ
べ…ベロが
入ってきて
びっくりした…
ごめん
嫌だった？
ううん…
全然嫌じゃ
ないけど…っ
ほ 他に出来そうな
えっちなこととか
ないかなっ？
え!?他!?
他は…その…
あ！あれ！
ケンちゃん
調べてたよね！
しゅる…
はぁ
はぁ
おっぱいは
どんな
えっちなこと
出来るの…？

あ……
流石にちょっと恥ずかしいね…
おっぱいだけ大きいの少し嫌だったし…


でもケンちゃんおっぱい好き…なんだよね？


むにっ
きゃっ!?
ごごめん!!嫌だった!?
嫌じゃないよ！びっくりしただけ！さ触っていいよ…
うん…

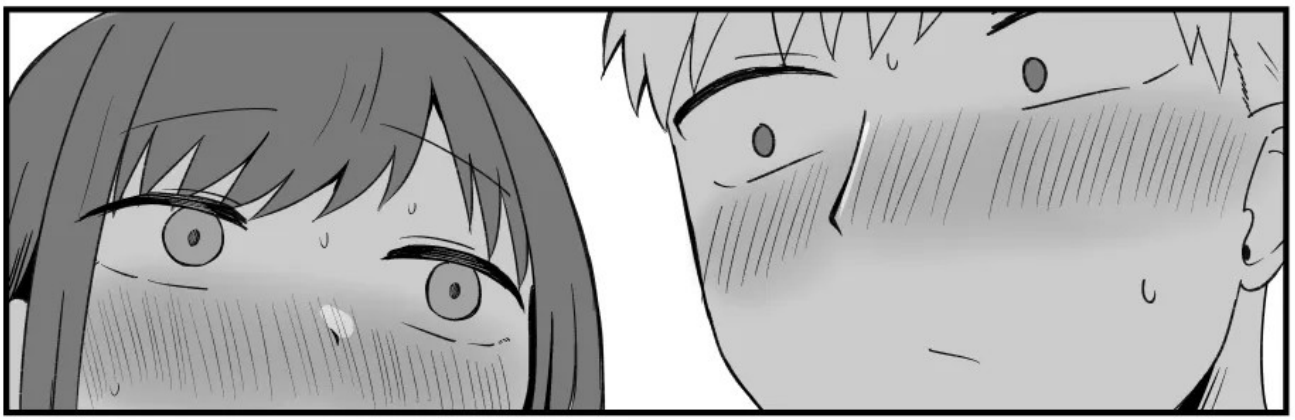

ん…っ
ふ…っ
むに
むに
うわ すごっ
あ…っ
もみ
もみ
柔らかい…
あんっ
くにっ

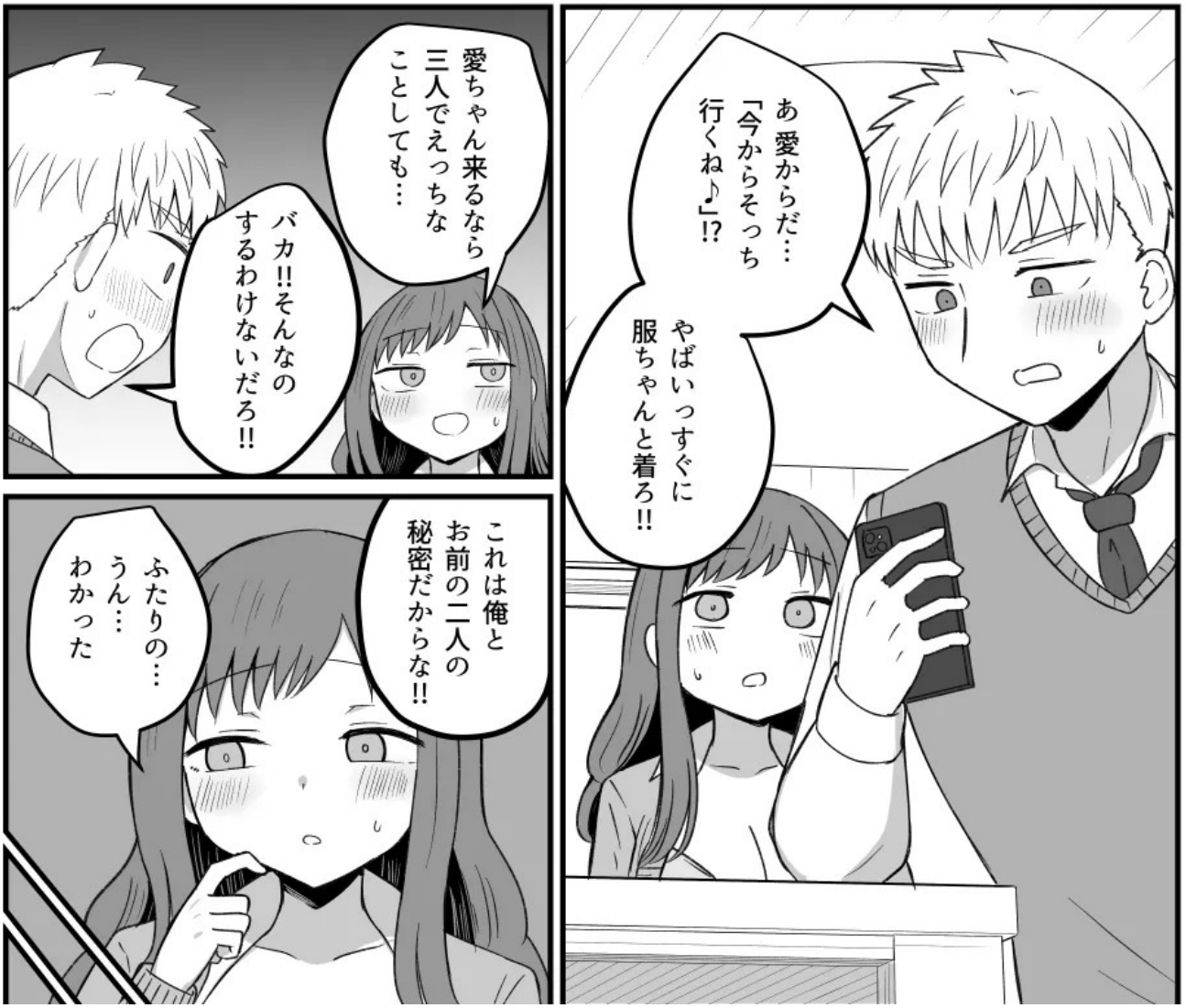

ここが気持ちいい？
あっ…わっ…わかんない…っ
あ、
かりかりかりかりかりかりかりかり
あっあ…だめ…っこれ…っ
…っ
もう駄目だって!!なんか気持ちよくなりすぎちゃう!!
ええ…でもえっちってそういうものだからなぁ…
気持ちよく…
じゃあケンちゃんも触ってほしいところあったりする…？
えっ…まぁあるけど
わぁ！触らせて！お互いしないと不公平だもん！
はいどうぞ！
えっと…ここなんだけど…
ぐいっ

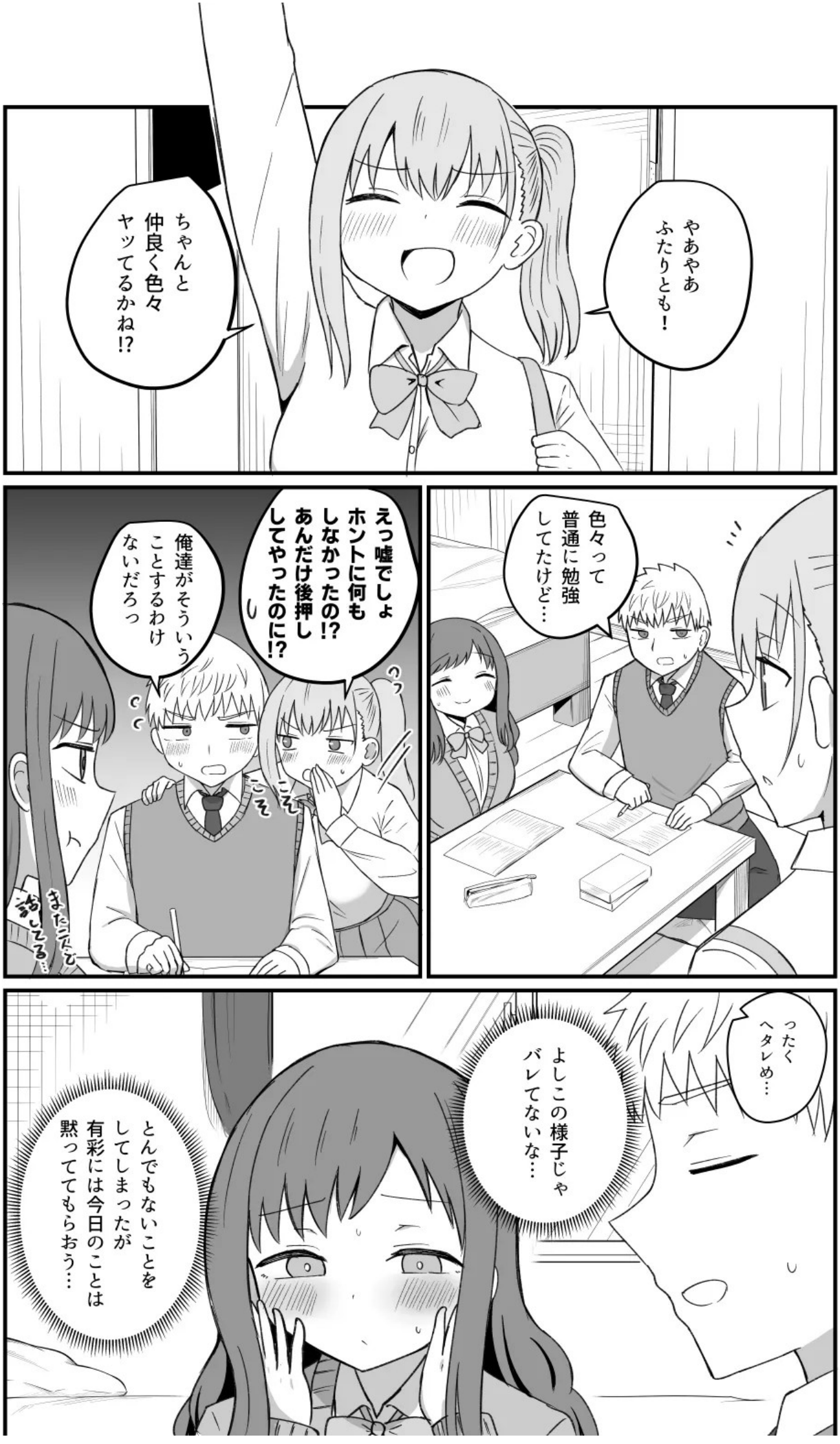
えっ!?
なにこれ
熱いっ？
これ…
おちんちん
だよね…？
ビクン
熱くて硬くて
びくびくしてて…
生き物みたい…
まあ生き物の
一部だからな…
スリ
スリ
スリ
じゃあ俺も
もう一度
触るから
あ…っ
むに
ケンちゃん
これ…
気持ちいい？
はぁ
はぁ
はぁ
うん…
はぁ
むに
むに
スリ
スリ
スリ

有彩が俺のあそこを
一生懸命触って…
はぁ
むに
はぁ
むに
むに
こんなの
興奮しすぎる…っ
ぐに ぐに
我慢できない…
あっ
ぐ…
ん…
じー。
もっと
触りたい…
はぁ
はぁ
はぁ

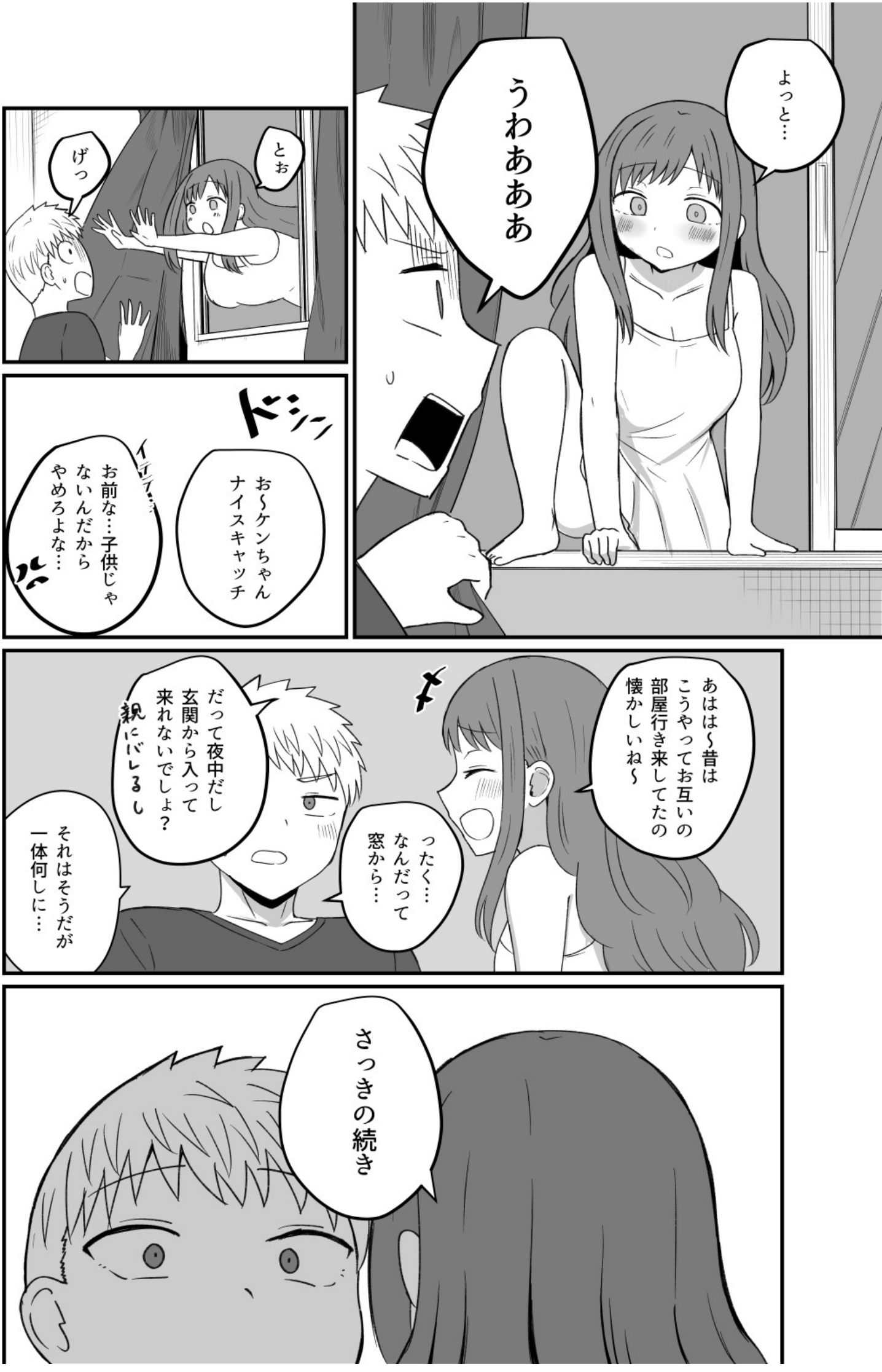
ピコン♪




あ愛からだ…
「今からそっち
行くね♪」!?
やばいっすぐに
服ちゃんと着ろ!!
愛ちゃん来るなら
三人でえっちな
ことしても…
バカ!!そんなの
するわけないだろ!!
これは俺と
お前の二人の
秘密だからな!!
ふたりの…
うん…
わかった

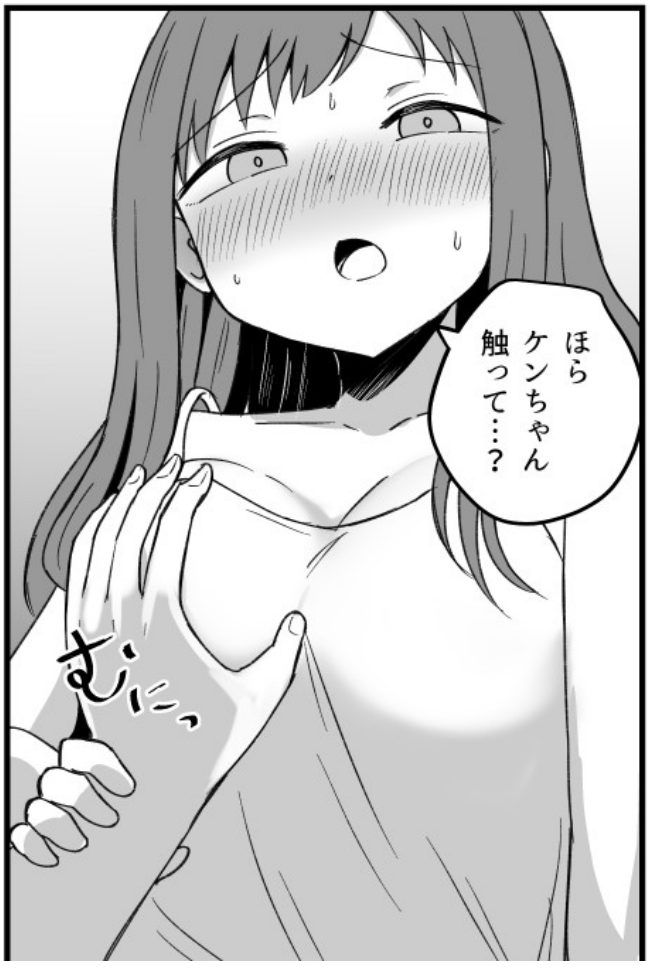

やあやあ
ふたりとも！
ちゃんと
仲良く色々
ヤッてるかね!?
色々って
普通に勉強
してたけど…
えっ嘘でしょ
ホントに何も
しなかったの!?
あんだけ後押し
してやったのに!?
俺達がそういう
ことするわけ
ないだろっ
こそこそ
またこれだ
諦めてる…
ったく
ヘタレめ…
よしこの様子じゃ
バレてないな…
とんでもないことを
してしまったが
有彩には今日のことは
黙っててもらおう…

今日のことは
なかったことにしないと
いけないよなぁ…
いや無理!!あんな
生殺しの状態で
なかったことに
出来るか!!
ギシ
ギシ
よし一旦
抜いて冷静に
なろう…
!!
♪
はぁ
はぁ
ケンちゃん
起きてたら部屋の
窓開けておいて〜
有彩から…?
窓開けといてって
こんな夜にどうして…

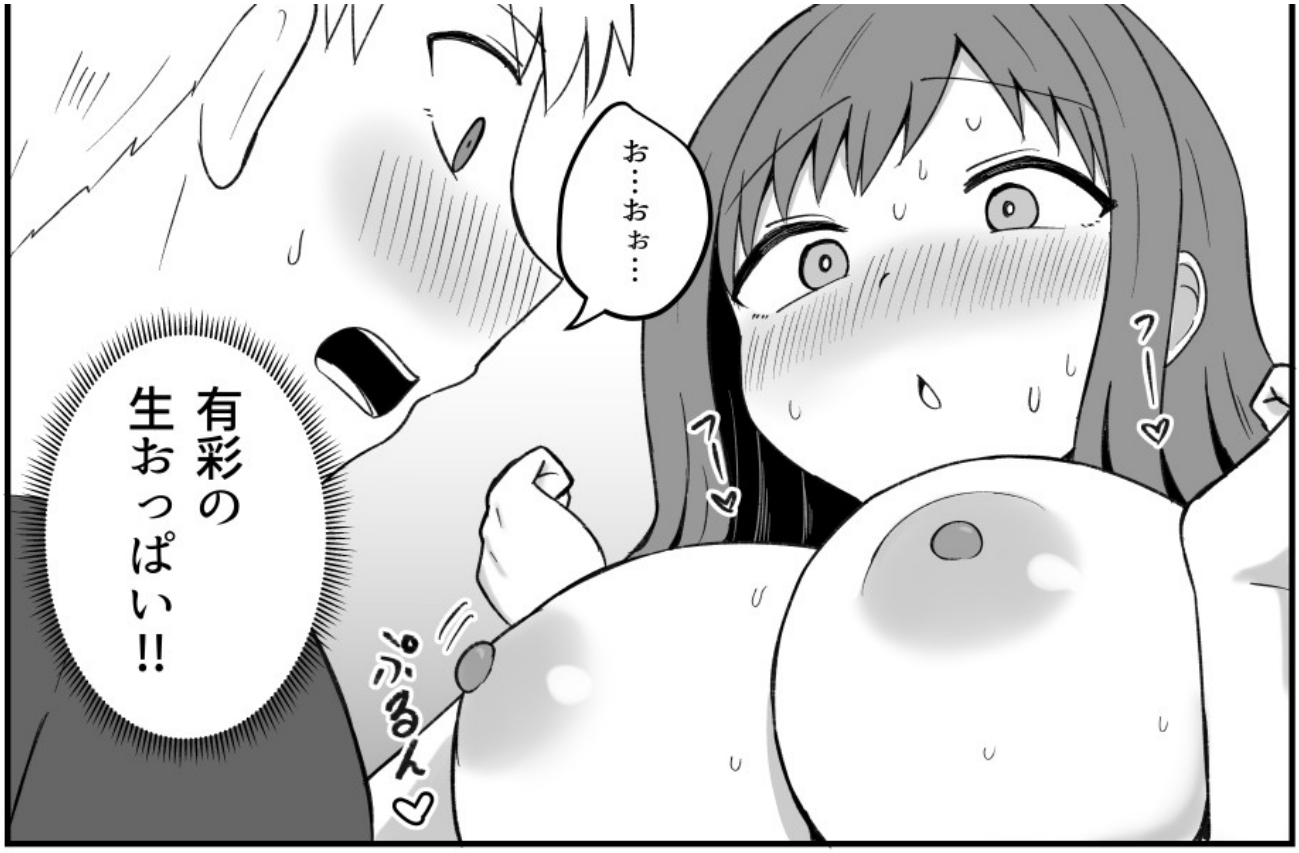

よっと…
うわあああ
とぉ
げっ
ドシン
お～ケンちゃん
ナイスキャッチ
イテテ…
お前な…子供じゃ
ないんだから
やめろよな…
あはは～昔は
こうやってお互いの
部屋行き来してたの
懐かしいね～
ったく…
なんだって
窓から…
だって夜中だし
玄関から入って
来れないでしょ？
親にバレるし
それはそうだが
一体何しに…
さっきの続き

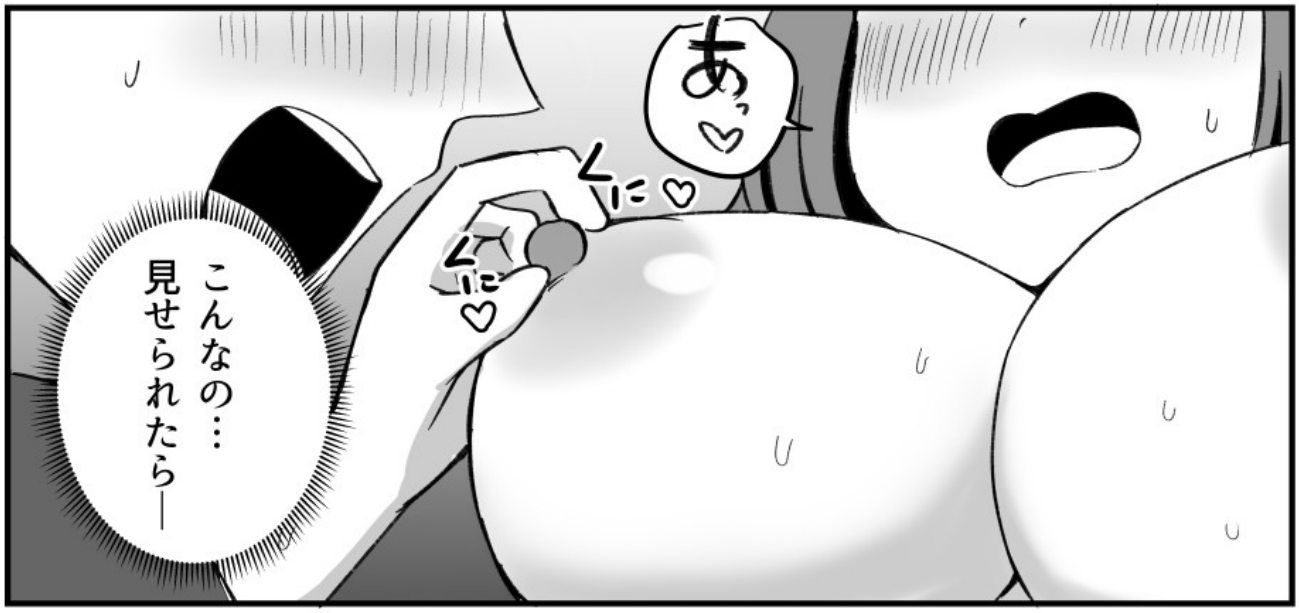
あれで
終わりじゃ
ないよね…？
有彩!?

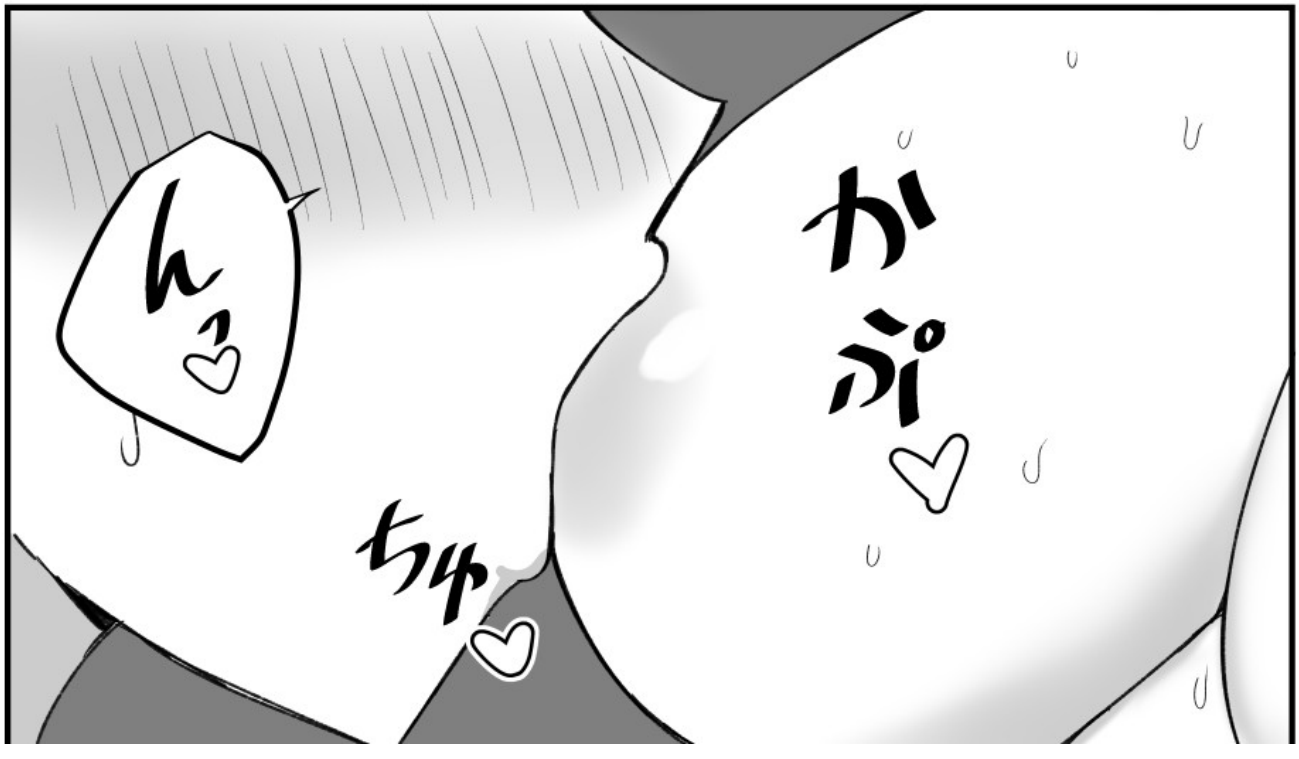
私ずっと体が
ウズウズして
おかしいの…


ほら
ケンちゃん
触って…？
むにっ

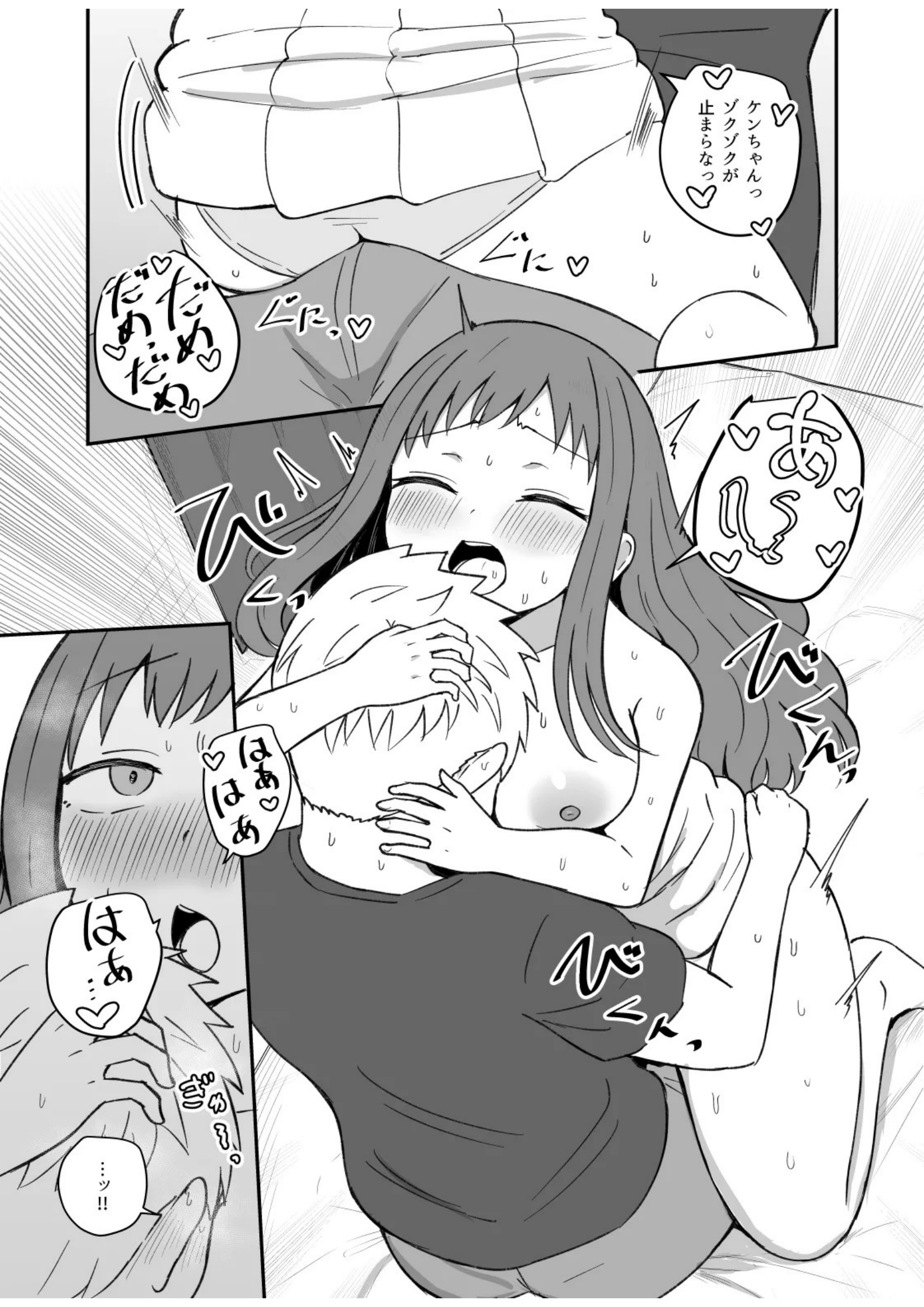
あっ…♡
ん…♡
これ…
気持ちいい…♡
むに♡
ぐに♡
はぁ
え？
やっぱり
ケンちゃんじゃ
ないとダメだ…
はぁ
さっきまで自分で
触ってたけど
全然ダメだったの
あ、
あ、
もっと
気持ちよく
なりたい…
もっとケンちゃんに
いじってほしいのっ
プルン
プルン


お…おぉ…
ふ〜♡
ふ〜♡
有彩の
生おっぱい!!
ぷるん♡

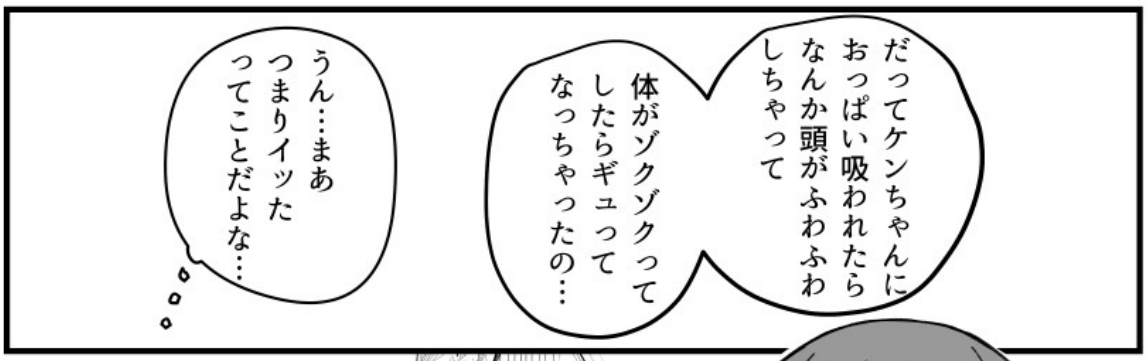

あっ♡
くに♡
くに♡
こんなの…
見せられたら―

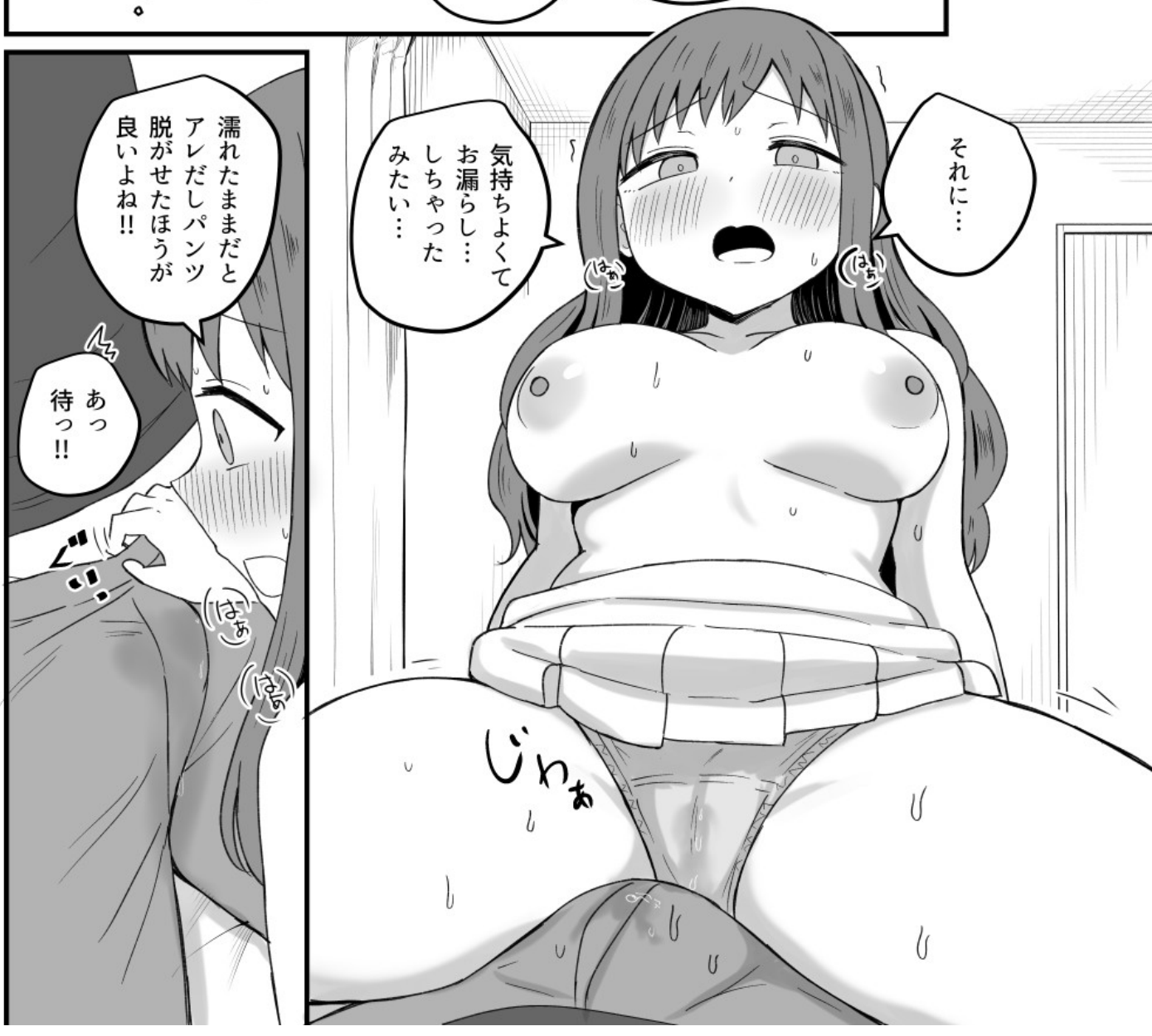

ん♡
かぷ♡
ちゅ♡

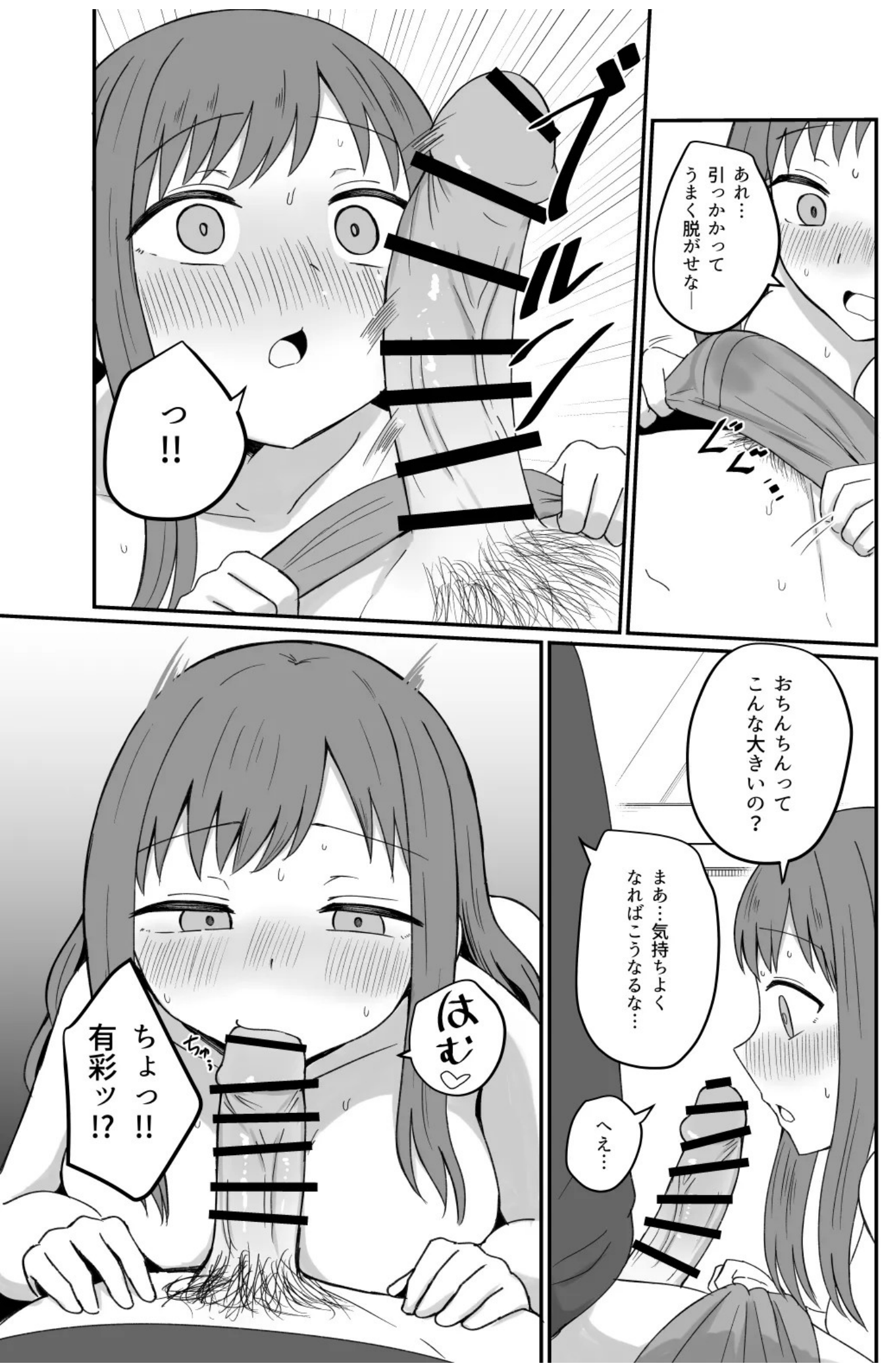
あっ
こんっ
すごっ
そんな
吸っちゃ
ちゅ♡
ちゅ♡
ぐにっ
ぐにっ
ちゅ♡
ちゅ♡
あっ
だめ
これだめっ
ゾクゾク


ケンちゃんっ
ゾクゾクが
止まらなっ
ビに
だめだめだめ
ビに、
あいい
べくん
べくん
はぁはぁ
はぁ
ぎゅ
…ッ!!

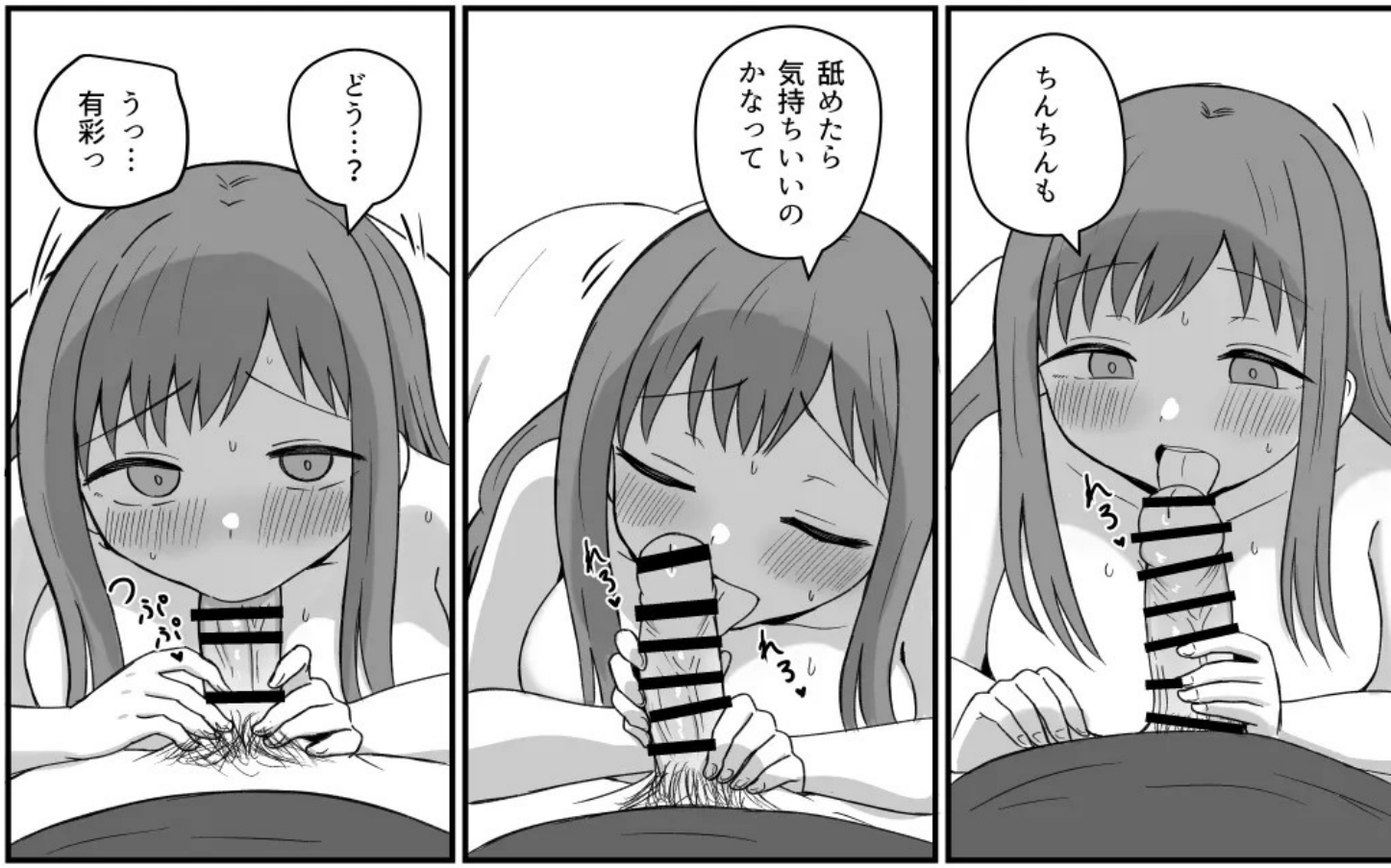
あっごめん
ずっとぎゅって
しちゃってた…
ぷは、
おっぱいで
窒息するかと
思ったぞ
パフ

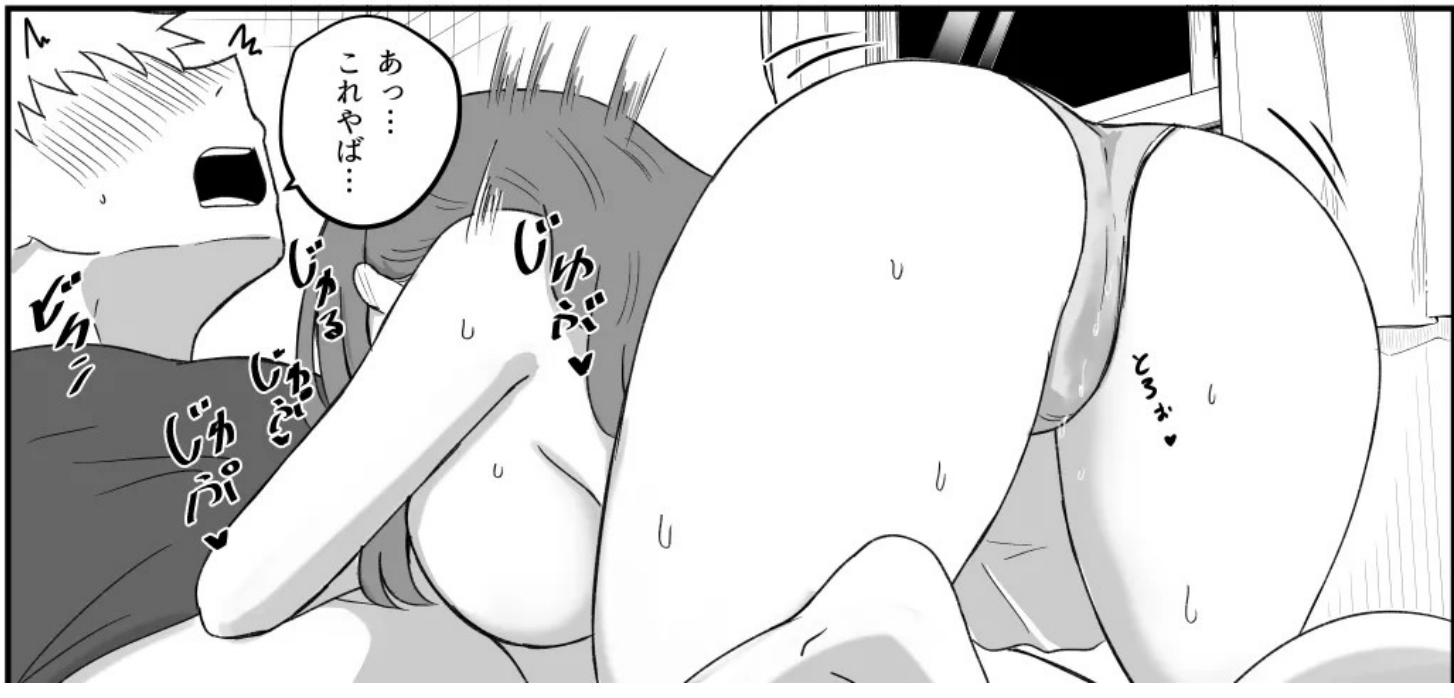

だってケンちゃんに
おっぱい吸われたら
なんか頭がふわふわ
しちゃって
体がゾクゾクって
したらギュって
なっちゃったの…
うん…まあ
つまりイッた
ってことだよな…


それに…
(はぁ)
(はぁ)
気持ちよくて
お漏らし…
しちゃった
みたい…
じわぁ
濡れたままだと
アレだしパンツ
脱がせたほうが
良いよね!!
あっ
待っ!!
(はぁ)
(はぁ)

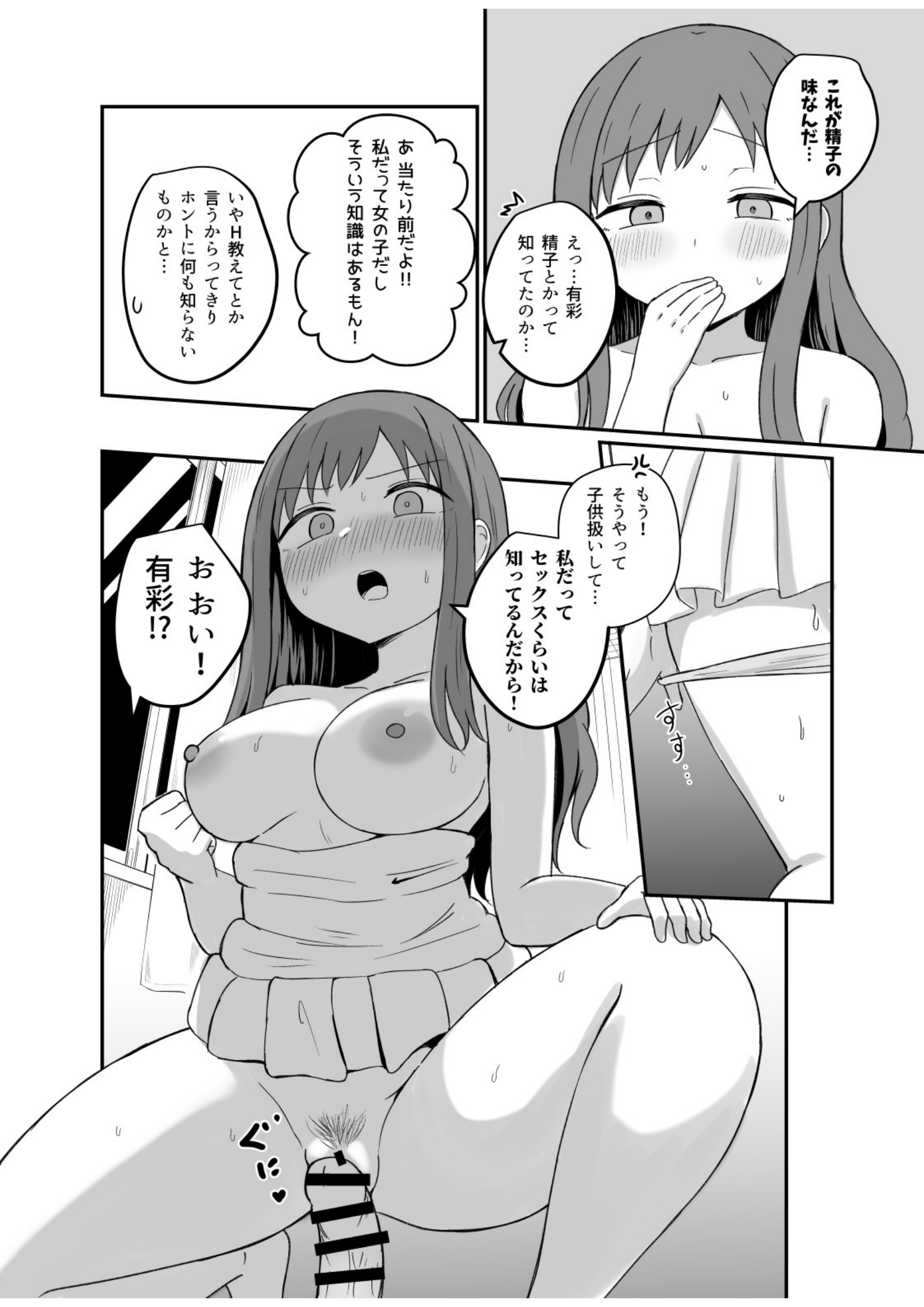

あれ…
引っかかって
うまく脱がせな—
ズル
っ!!
おちんちんって
こんな大きいの？
まあ…気持ちよく
なればこうなるな…
へえ…
はむ♡
ちょっ!!
有彩ッ!?

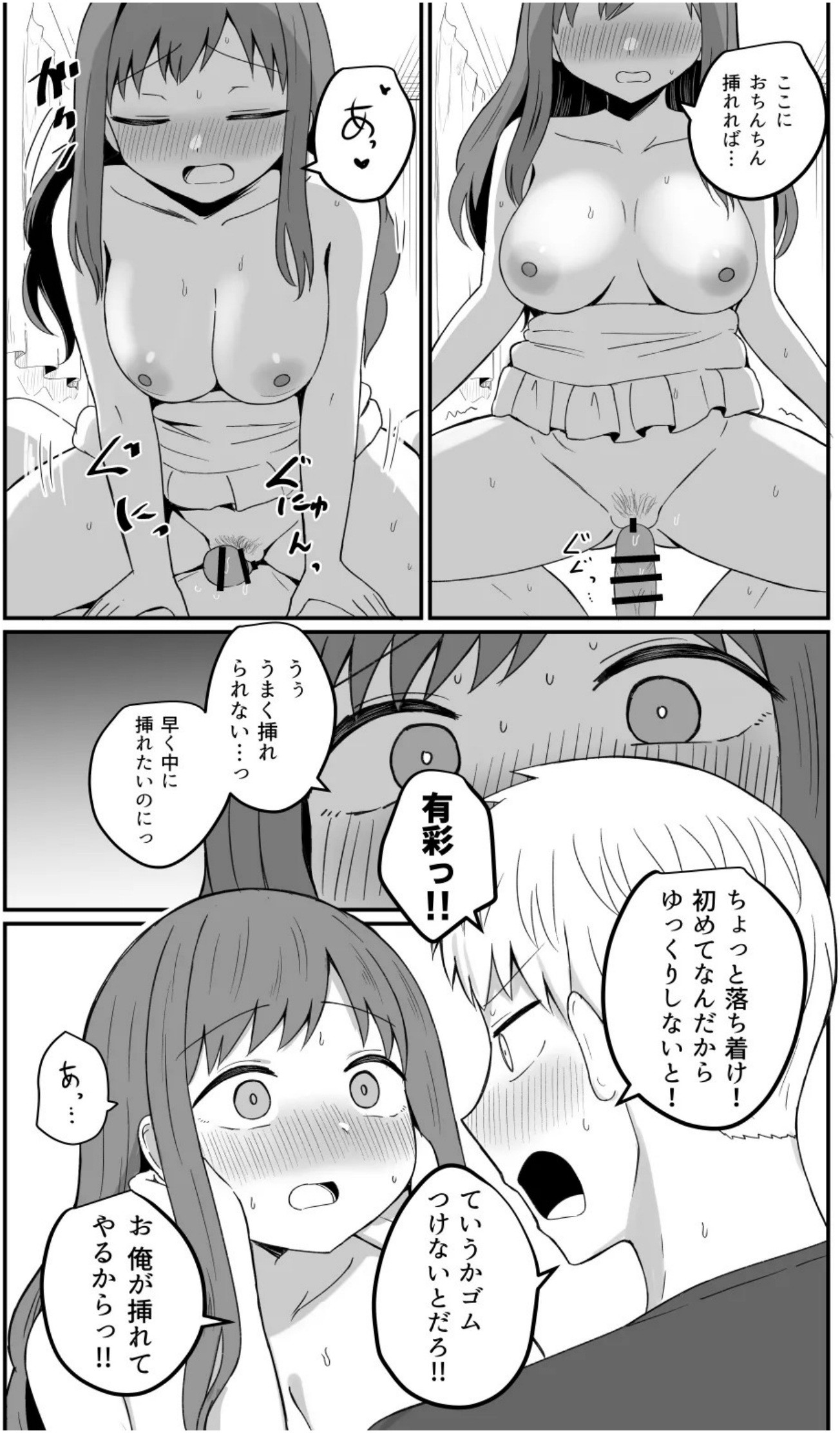
ごめんっ
痛かった…？
痛くないけど
びっくりして…！
何で咥えたんだ!?
だってケンちゃんに
おっぱい吸ってたとき
気持ちよかったから…


ちんちんも
舐めたら
気持ちいいの
かなって
どう…？
うっ…
有彩っ


あっ…
これやば…

もう…
出るッ!!
ん!?
ぷはぁ
(はぁ)
(はぁ)
うぇ…苦い…
ん…んんっ
いや吐き出して
いいからっ!


これが精子の味なんだ…
えっ…有彩精子とかって知ってたのか…
あ当たり前だよ!!私だって女の子だしそういう知識はあるもん!
いやH教えてとか言うからってきりホントに何も知らないものかと…
もう!そうやって子供扱いして…私だってセックスくらいは知ってるんだから!
すす…
おおい!有彩!?
ぐに♥


ここにおちんちん挿れれば…
あっ♥
ぐぐっ…
ぐにゅん
ぐにっ
ちょっと落ち着け！初めてなんだからゆっくりしないと！
有彩っ!!
うぅうまく挿れられない…っ
早く中に挿れたいのにっ
あっ…
ていうかゴムつけないとだろ!!
お俺が挿れてやるからっ!!

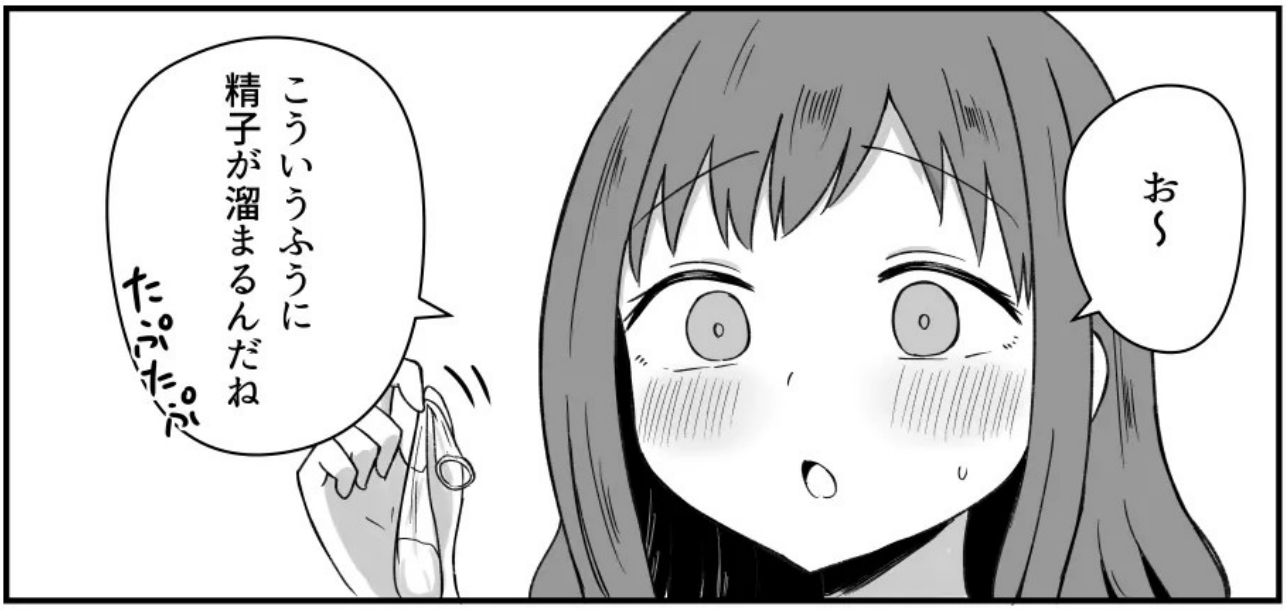
よし…
挿れるぞ…
うん…
手…
握ってて
いい…？
ああ
ビクン
ビクッ
らめぇ!!
ぎゅ〜
ズププ…
プッ
つぷ…

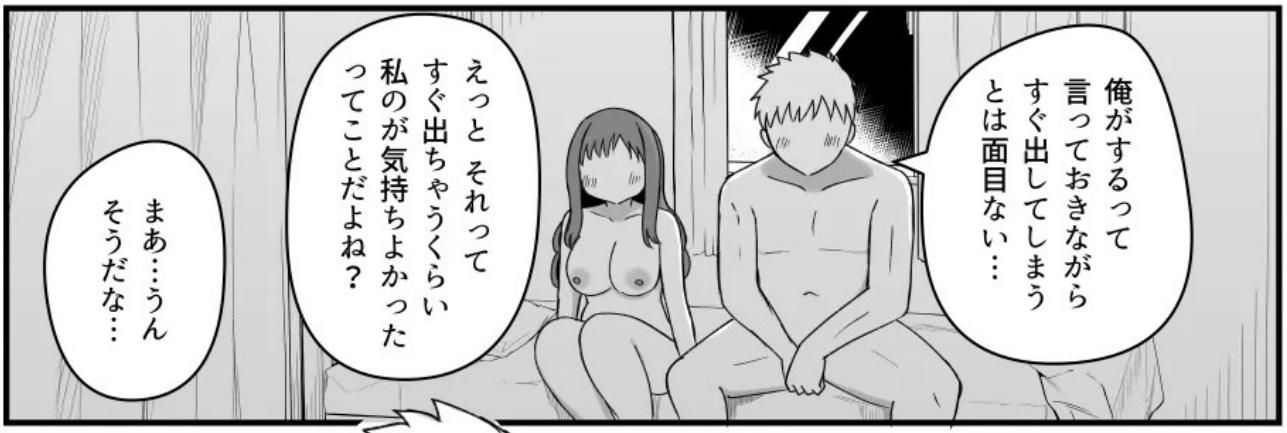
ん…
あっ…
うぐっ…
これ締まり
やばっ…
有彩…
大丈夫か？
一旦抜くか？
あっ…
待って…！
じゃあ…少し
動いてみるぞ…
あっ
ズププ
なんか痛くは
ないかも…？
むしろもう
気持ちいい
…かも？
それホントに
大丈夫か…？

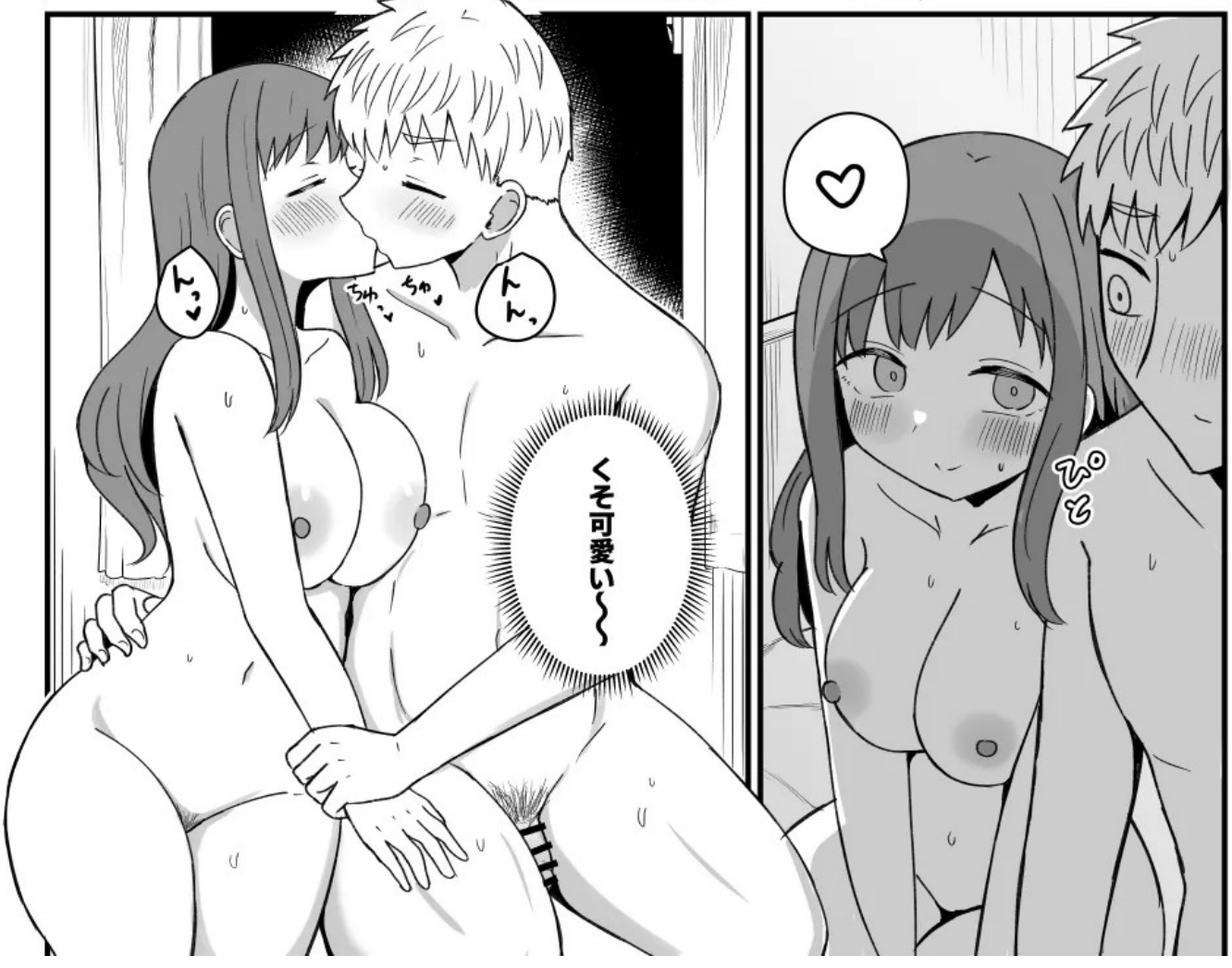
あっ
あっ
んっ
あっ
グリ
グリ
奥にっ
おちんちん
届いてるっ
ぬぷ
ぬぷっ
あ、あ、
ケンちゃんっ
もっとぉ

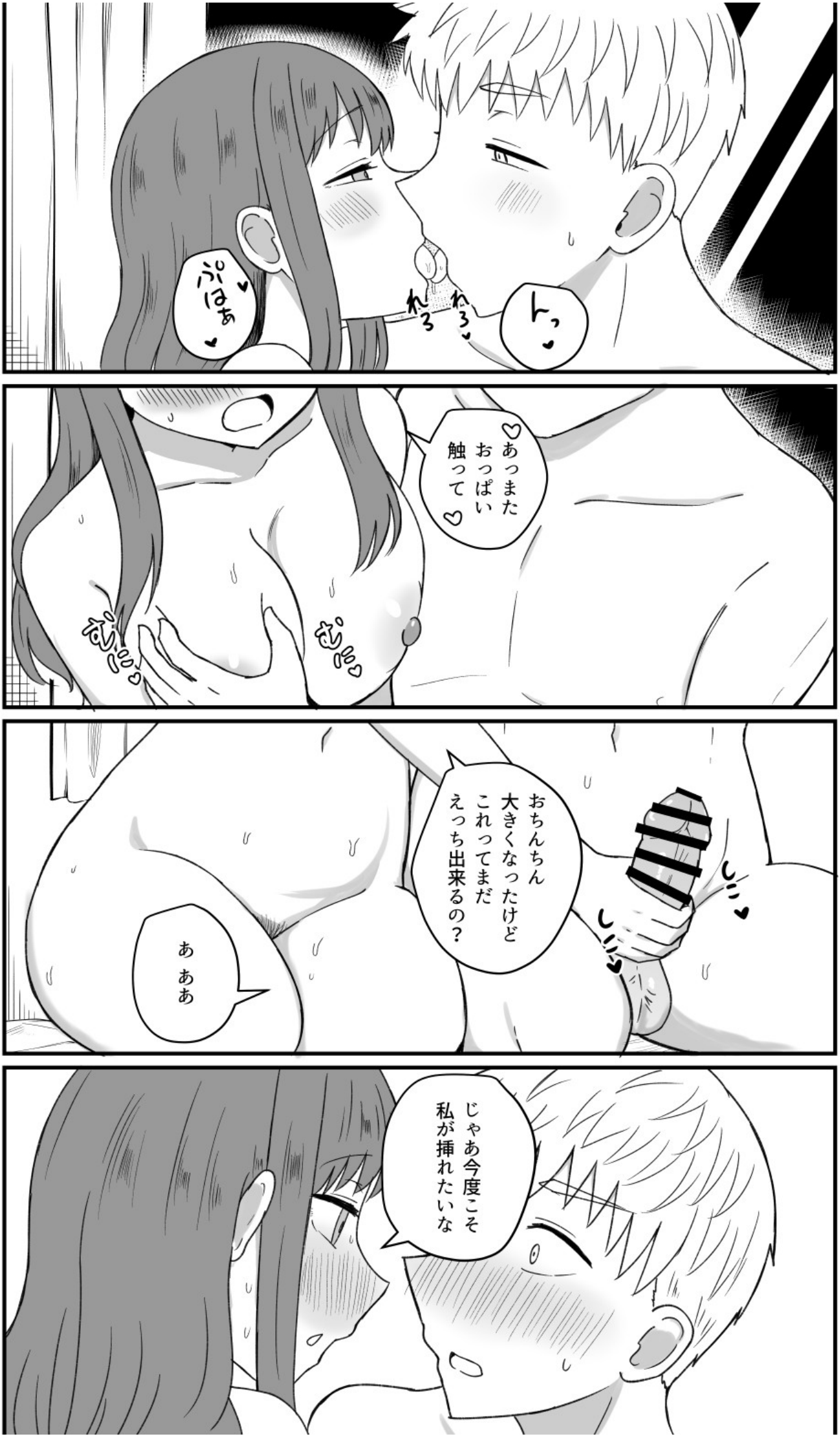
有彩っ!!
うっ
パン
パン
はぁ
はぁ、
パン
あんっ
むにっ
むにっ
有彩っ俺っ
もうイきそう…ッ
えっ
イくって
なに?、
あっ
むにっ
パン
パン
スプ
スプ

んっ♡
ビクッ
ビクッ
ビュルルルッ
ビュルルルッ

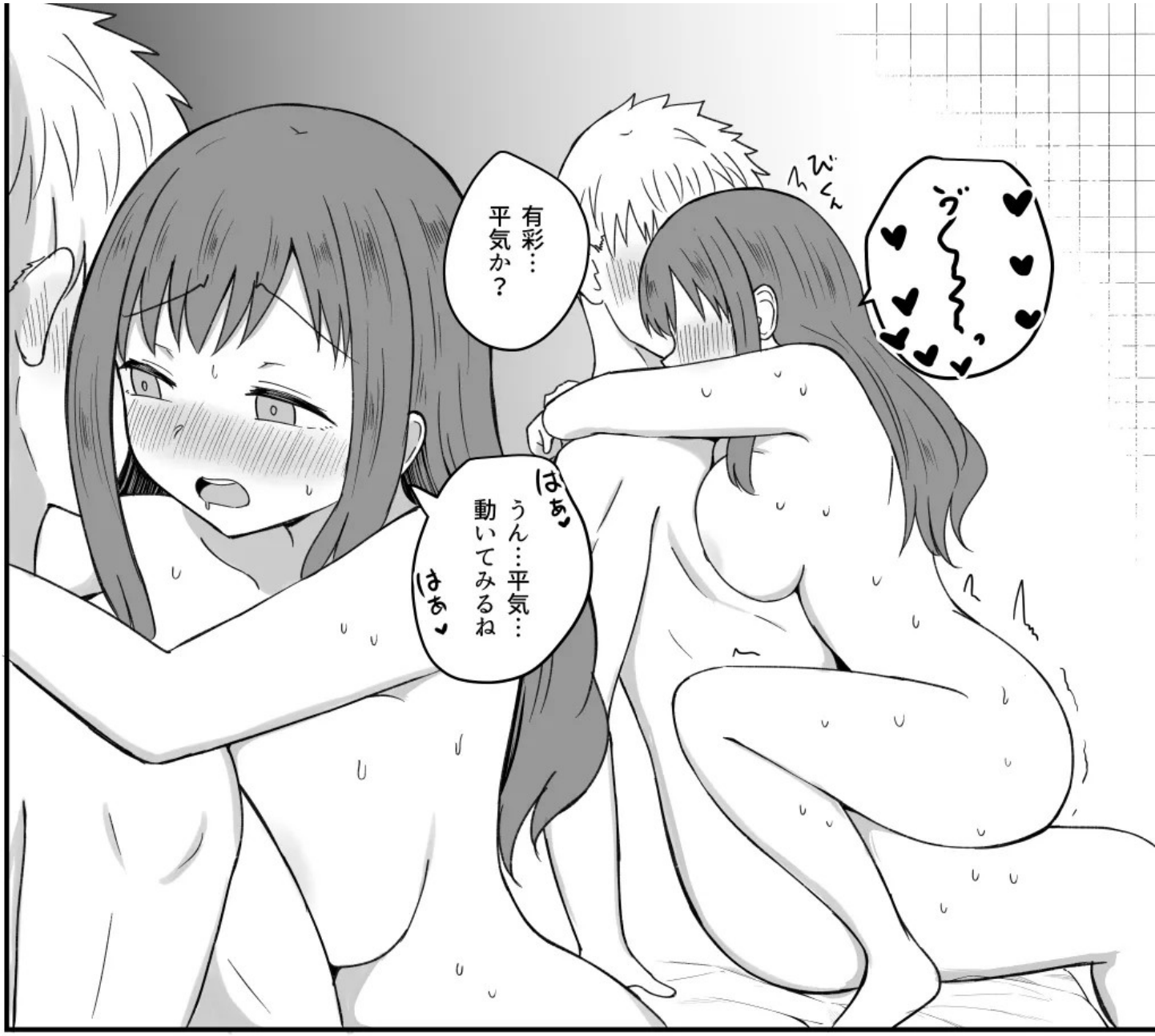

お～
こういうふうに
精子が溜まるんだね
たぷたぷ

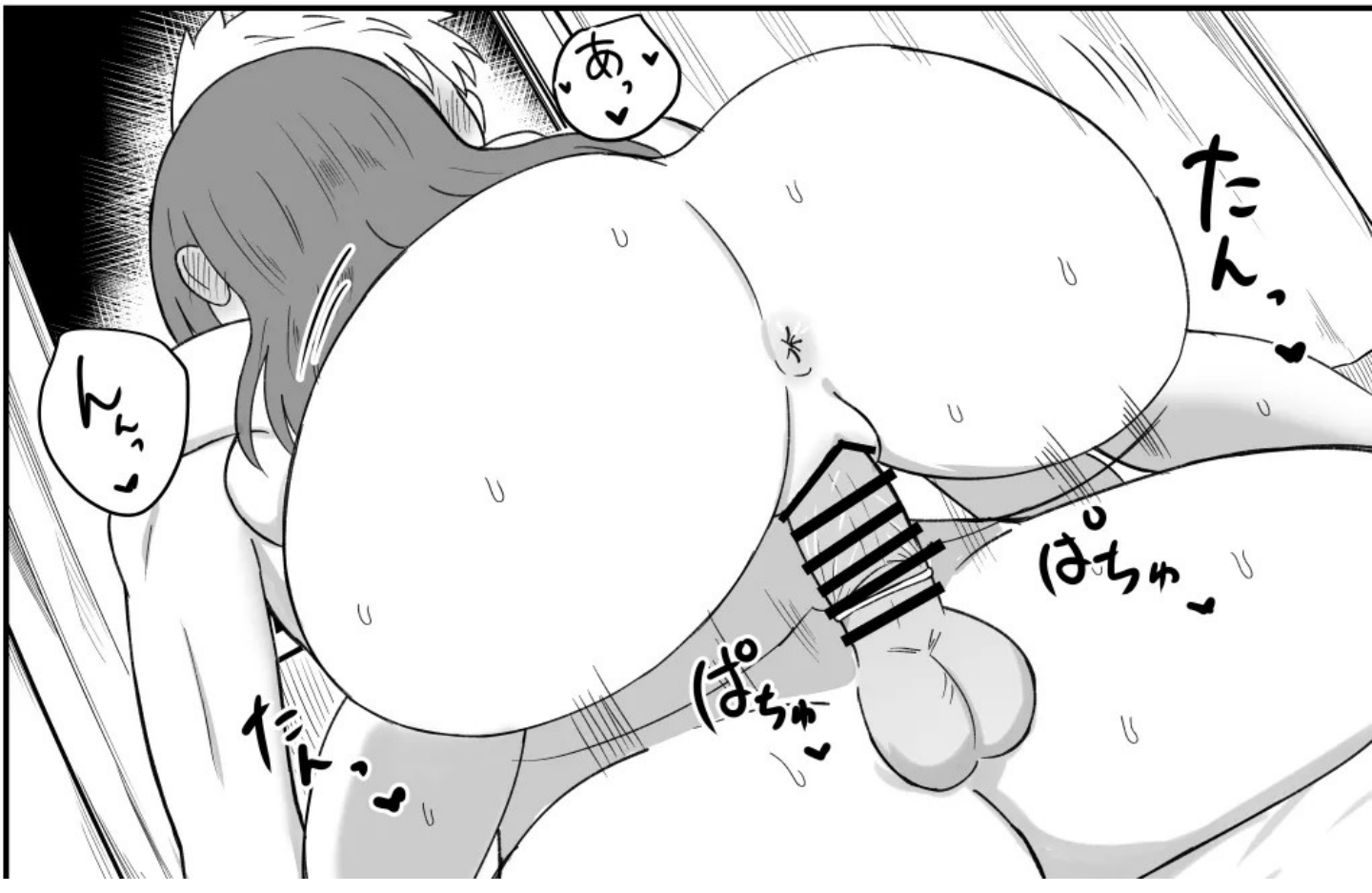

俺がするって
言っておきながら
すぐ出してしまう
とは面目ない…
えっと それって
すぐ出ちゃうくらい
私のが気持ちよかった
ってことだよね？
まあ…うん
そうだな…


♡
ぴと
くそ可愛い～
んっ
ちゅ
ちゅ
んっ


ぷはぁ♥
れろ
れろ♥
ん♥
♡あっまた
おっぱい
触って♡
むにゅ
むにゅ♡
おちんちん
大きくなったけど
これってまだ
えっち出来るの？
しこ♥
しこ♥
あああ
じゃあ今度こそ
私が挿れたいな

ゴムもつけたし…
挿れる場所もさっき
分かったから…大丈夫…
んっ…
このまま
下ろせば…
ぷぷぷ
ん…っ♥
ぐぃぃ
ぴと〜
ぐっ♥
ビクッ
ビクッ
キュゥン
キュゥン
くぱぁ♥


有彩…
平気か？
はぁ♥
うん…平気…
動いてみるね
はぁ♥
びくん
づ～～っ♥

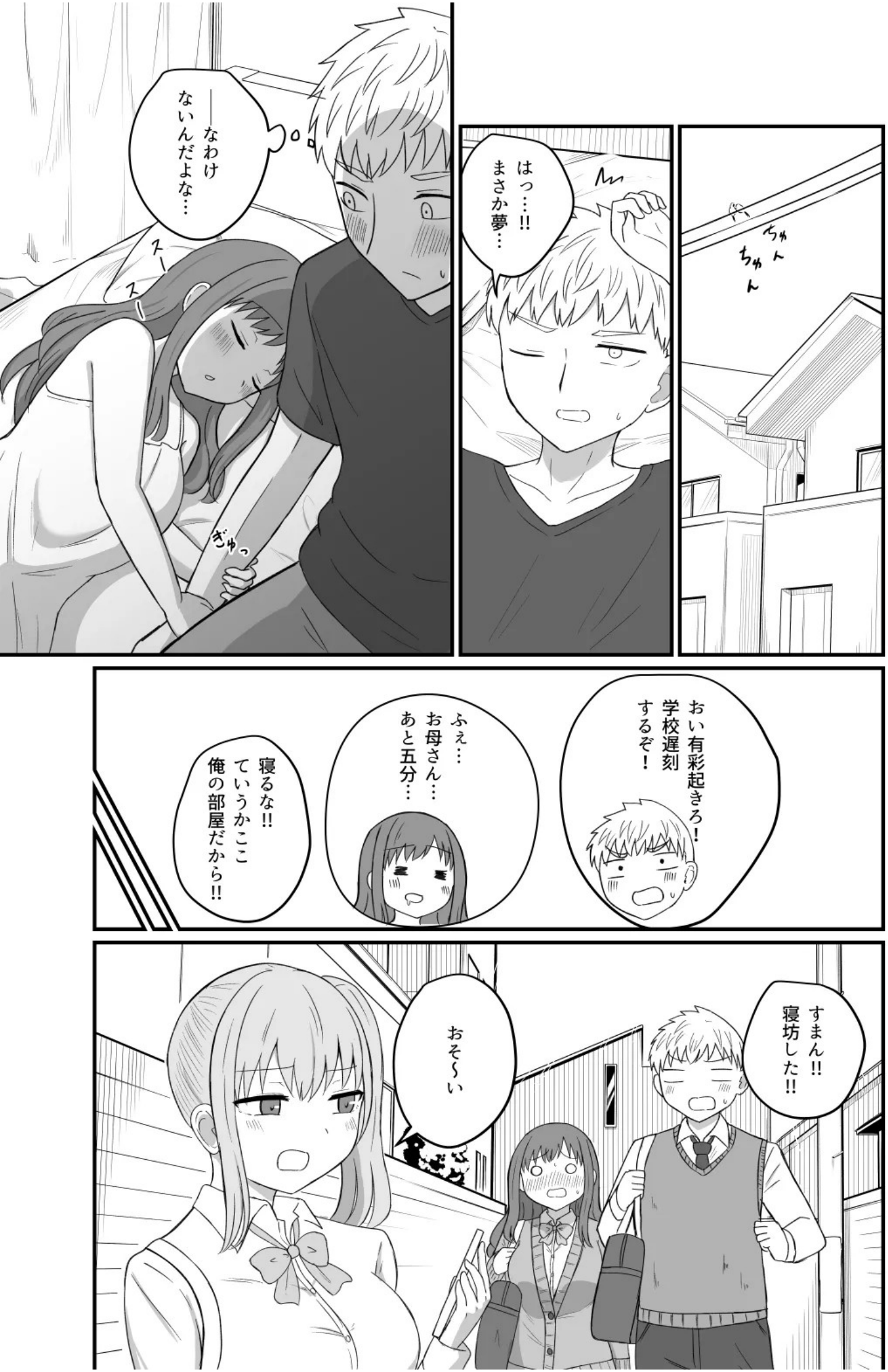

あっ♥
たんっ♥
んんっ♥
ぱちゅ♥
ぱちゅ♥
だとっ♥

あっ♥
ケンちゃん
ちゅーして♥♥♥
あっ♥
はあ
はあ
んっ♥
ちゅっ♥
ちゅ♥
ぬぷ♥
ぬぷ♥
んっ♥
んちゅ♥
ブプ♥ブプ♥
ぐりぐり♥

有彩…可愛すぎて
もう我慢出来ない…
はぁ
はぁ
ぷはっ
ふぇ…？
ズンッ
おっ♡
ぴくんっ
ズプッ

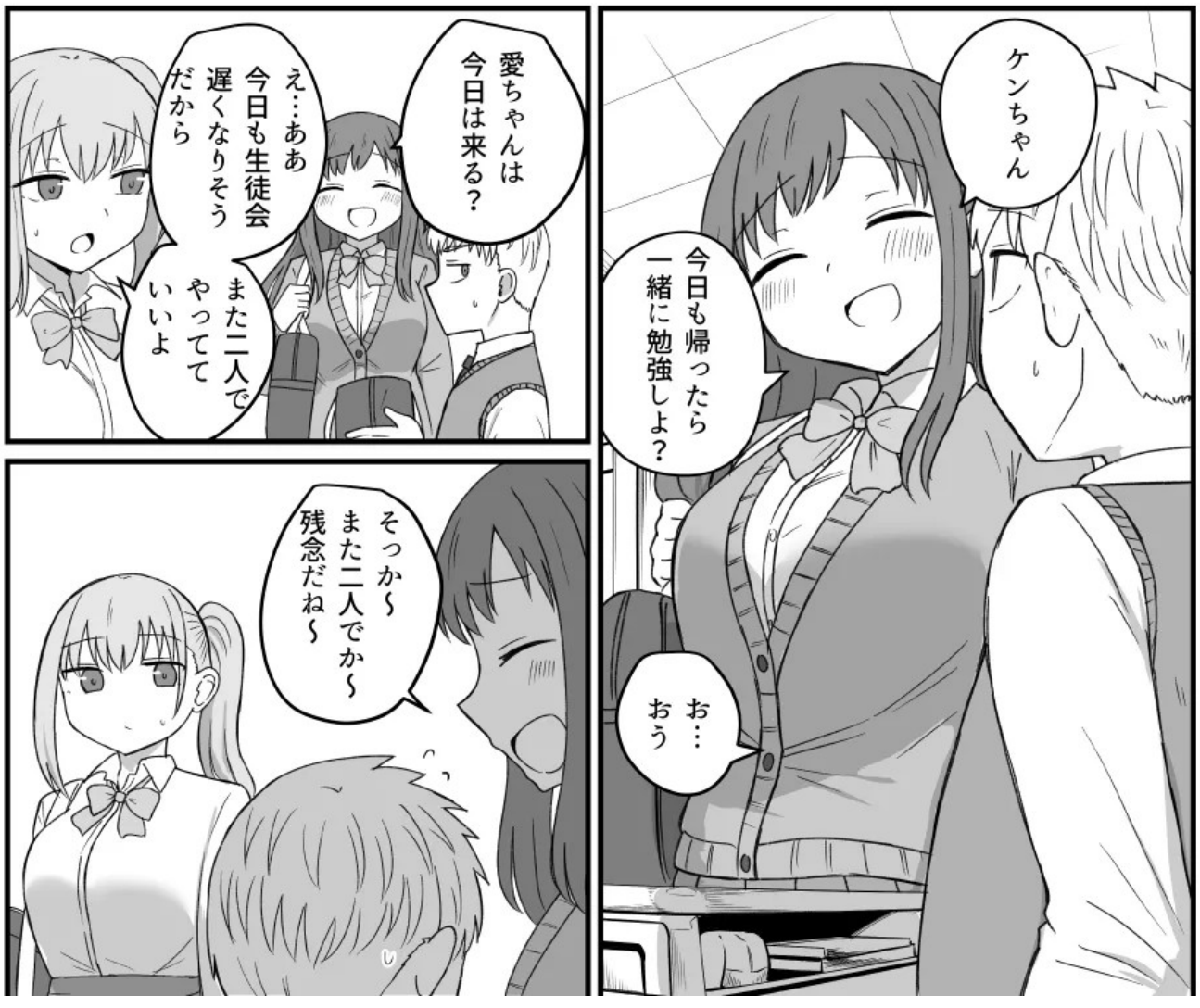
んっお
おくに当たって
ズプ
ズプ
だめ
おかしくなる
あっあ
パン
パン
パン
ケンちゃん
なんかくる
きちゃう
はぁ
はぁ
はぁ
ぬぷっ
ぬぷっ
おまんこ
とけちゃう

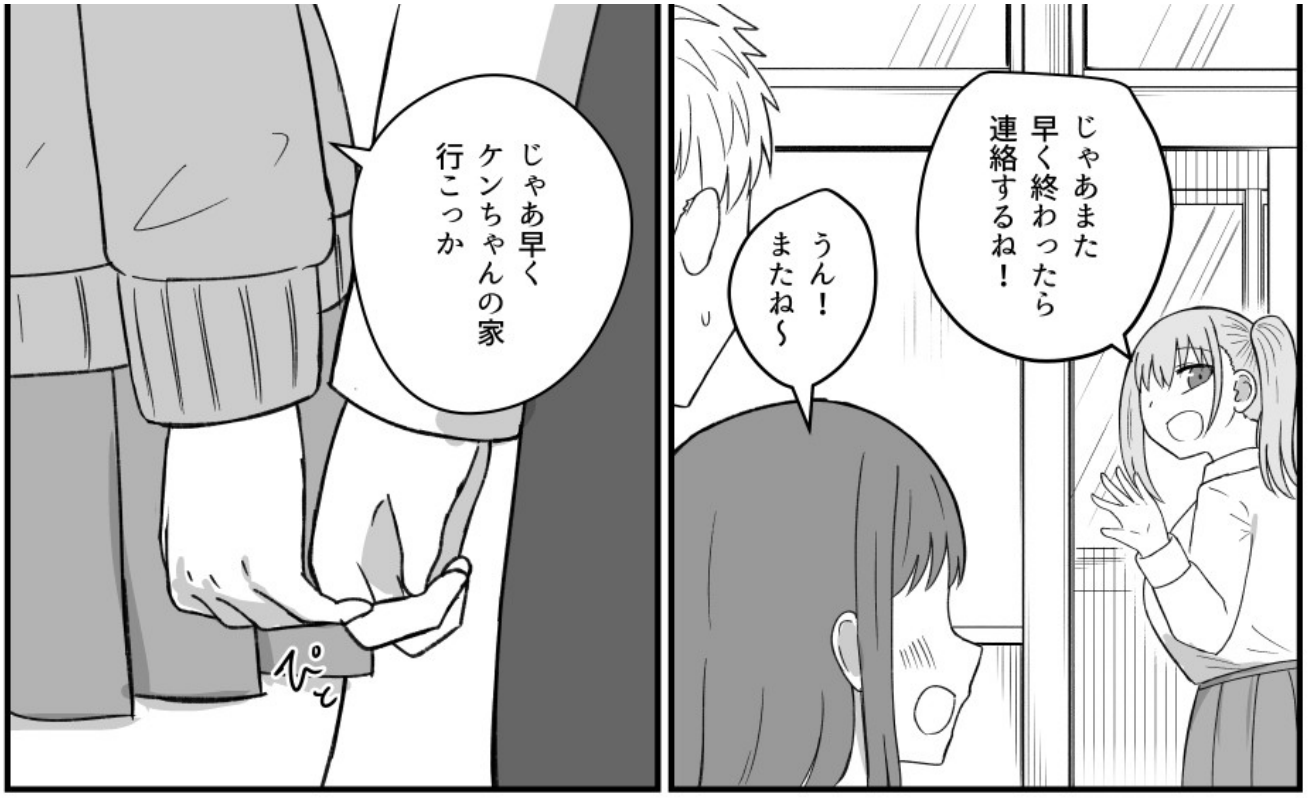
おぉぉ
びくっ、びくっ、
どぴゅっ
びゅるるるる
さゆんっ
はぁ
ケンちゃんとのセックス…
気持ち良すぎ…
はぁ
どぷっ、どぷっ、


ちゅん
ちゅん
はっ…!!
まさか夢…
――なわけ
ないんだよな…
スー
スー
ぎゅっ
おい有彩起きろ!
学校遅刻
するぞ!
ふぇ…
お母さん…
あと五分…
寝るな!!
ていうかここ
俺の部屋だから!!
すまん!!
寝坊した!!
おそ〜い

いつも通りの朝
いつも通りの三人

あんなことがあっても
三人で顔を合わせれば
またいつも通りになる
と思った




じゃあまた
早く終わったら
連絡するね！
うん！
またね～
じゃあ早く
ケンちゃんの家
行こっか
ぴと

今日もいっぱい
勉強教えてほしいな
でももう俺と有彩は
もとの関係には
戻れないだろう…

なんか二人の様子おかしかったから気になって生徒会抜けてきちゃった
……
別にチャイム鳴らさなくていいか…
どうせ開いてるし健太郎の親もいないしこっそり覗こっと…
おじゃましまーす
なんだろういつもと雰囲気がちがう気がする
〜
!!
何今の声…？有彩…？
カチャ…

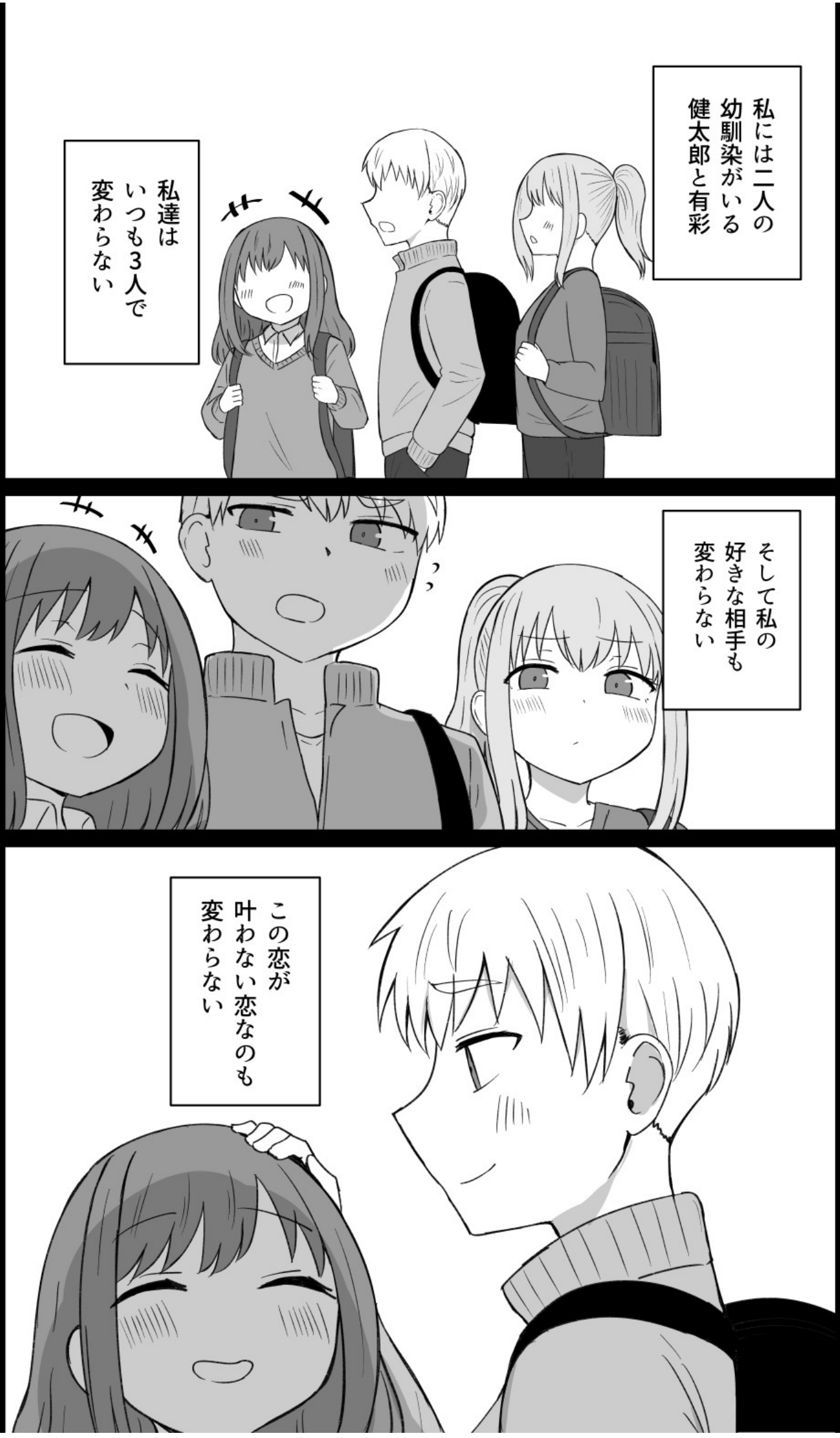
パン
パン
パン
!?
おっ
おっ

有彩…っ
気持ちいいか？
んっ
あっ
うん…っ
気持ちいいっ
ぉっ

あんっ
ケンちゃんの
おちんちんで
もっとイかせてっ
あんっ
はあ
はあ

はあ…
ちょっと休憩させてくれ…
ん？
ここ開いてたっけ…
まさか誰か居た？
いやそんなわけ…
ケンちゃん？
早く続きしよ？
あ…ああ

幼馴染は繋がりたい
～愛編～
千氏夜
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止


私には二人の
幼馴染がいる
健太郎と有彩
私達は
いつも3人で
変わらない
そして私の
好きな相手も
変わらない
この恋が
叶わない恋なのも
変わらない

あらすじ

健太郎と有彩と愛は小さい頃からの幼馴染。
健太郎はずっと好きだった有彩にHを教えてと
迫られて勢いで告白するが、有彩にはうまく伝わらず
なし崩し的にHする関係になってしまう。
そして二人の様子がおかしいことに気づいた愛は
健太郎の家に行きこっそり部屋を覗くと…

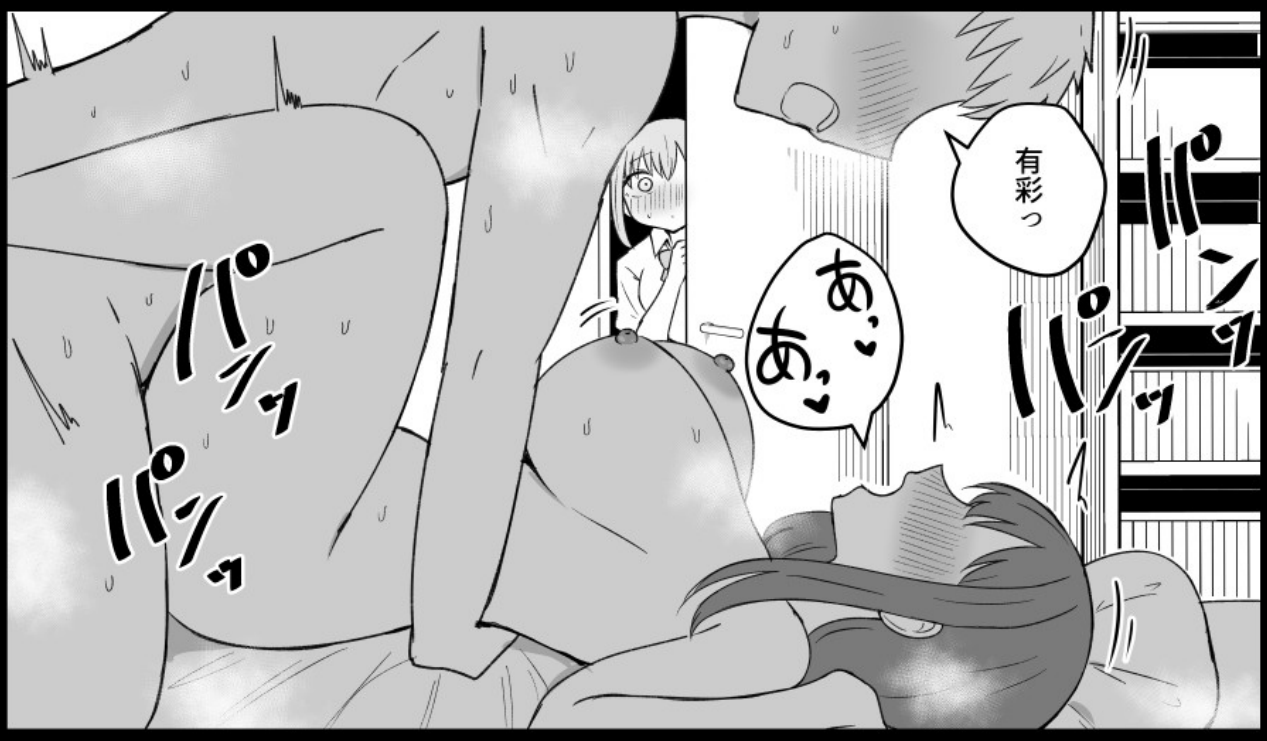
登場人物

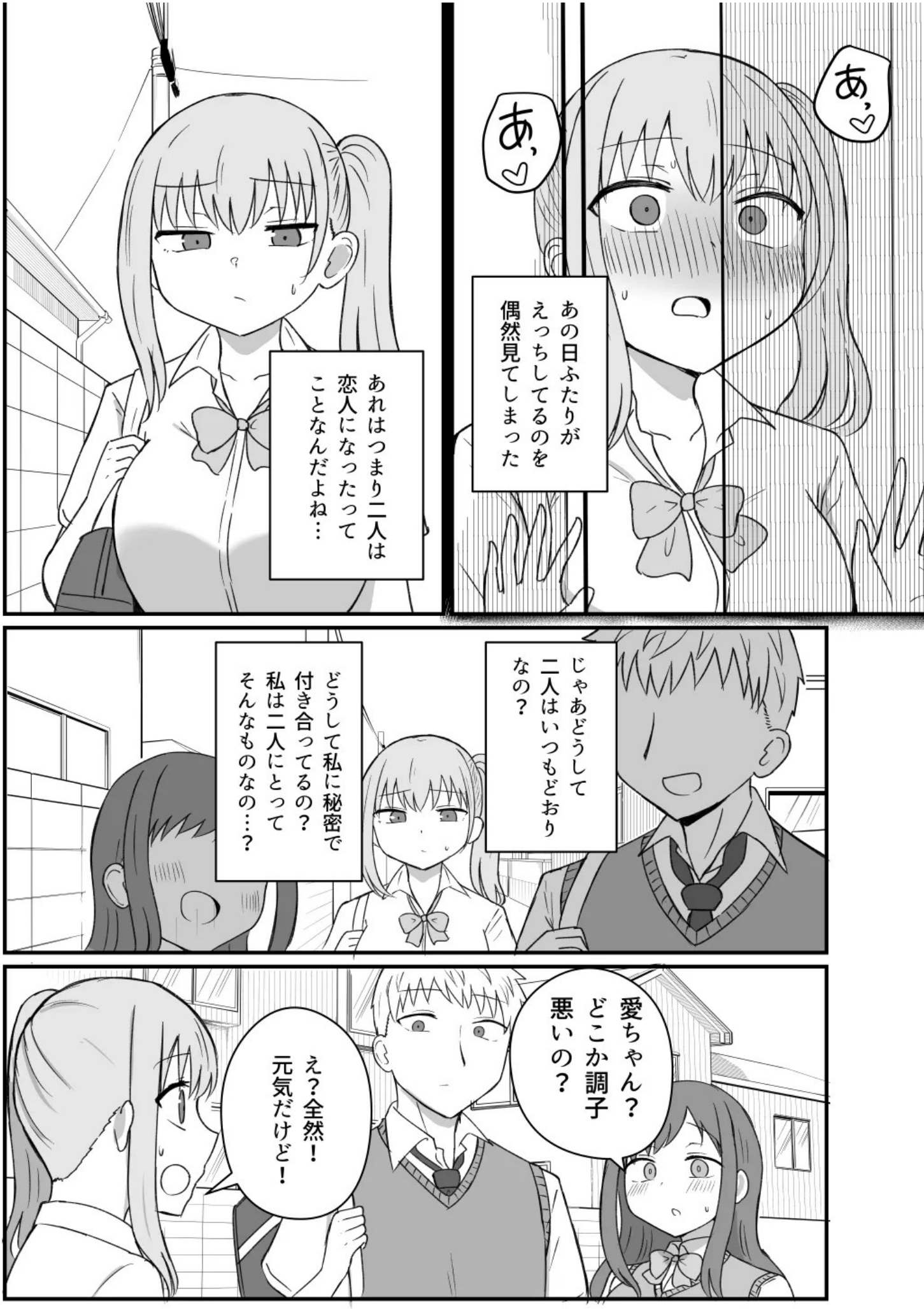
有彩（ありさ）

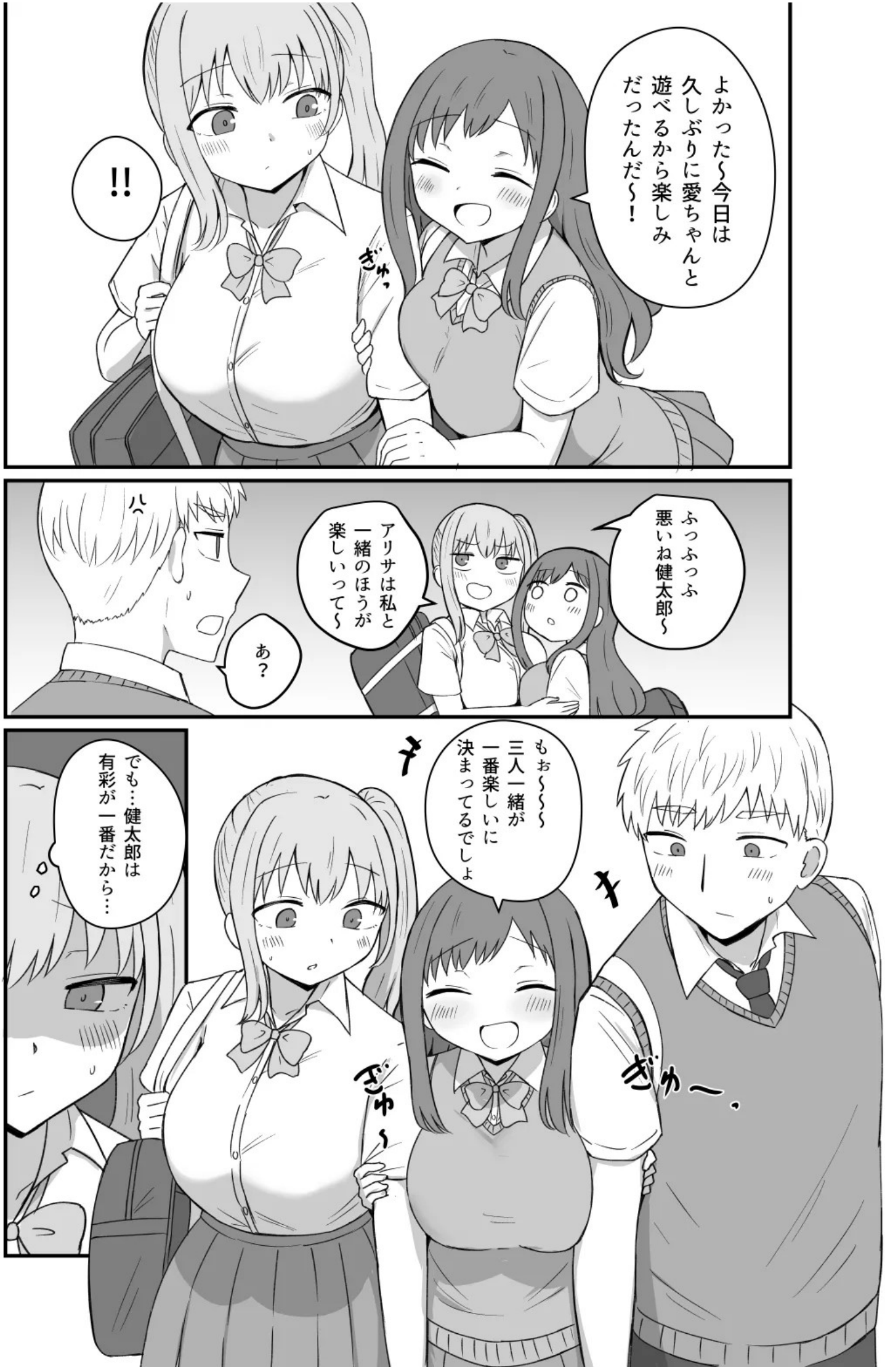
健太郎

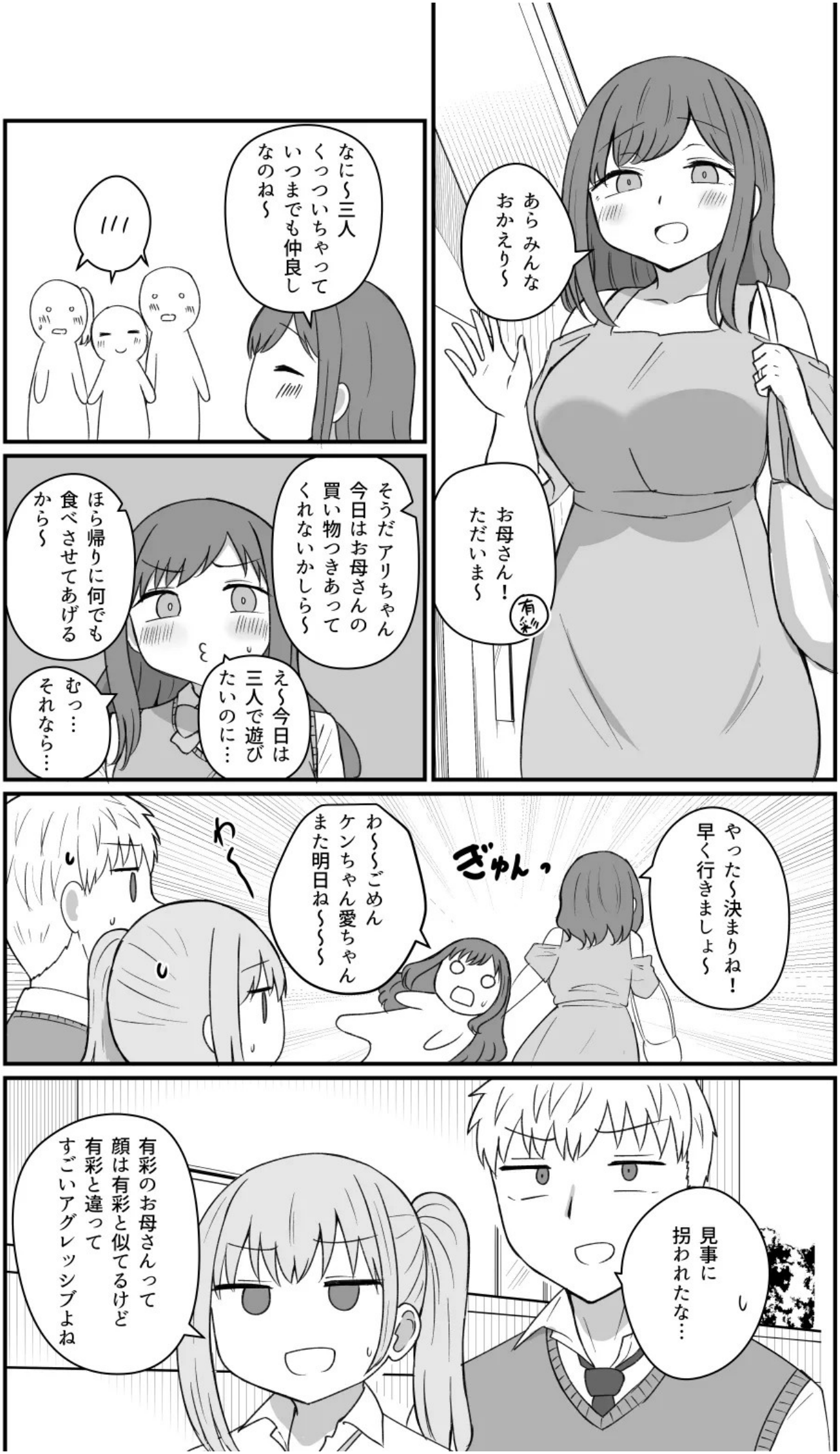
愛（あい）

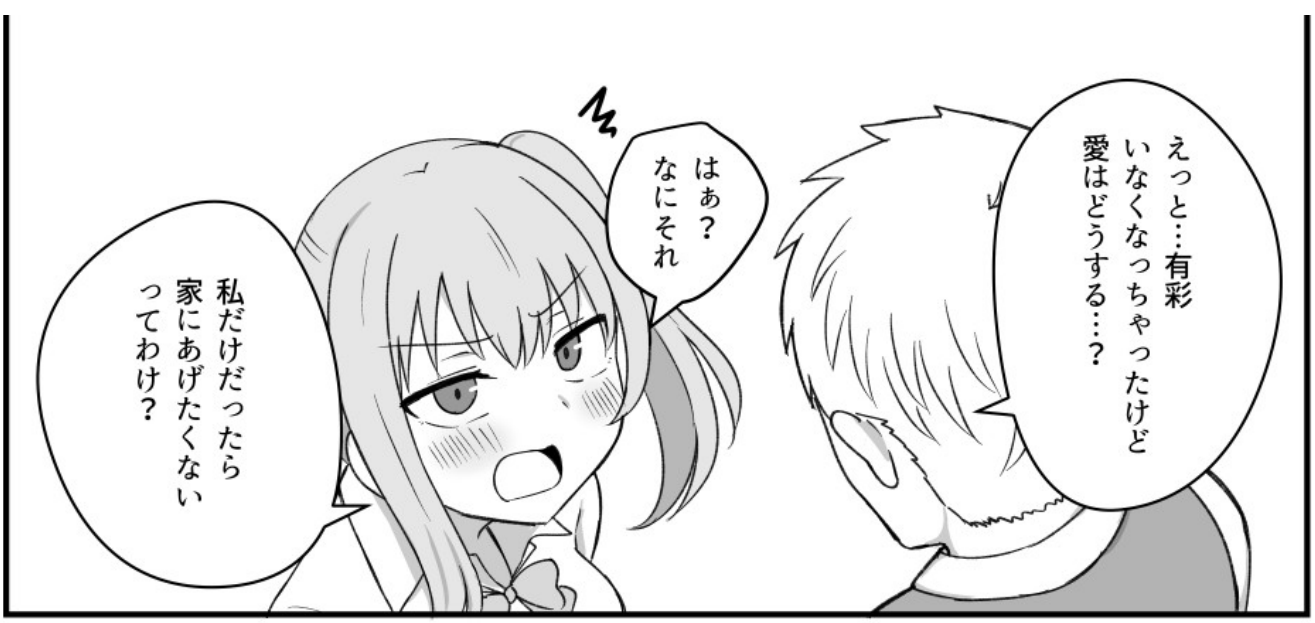
あんっ
ケンちゃん…
もっとお♥
ぬぷ♥
ぬぷ♥


有彩っ
あっ
あっ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ


あ♡
あ♡
あの日ふたりがえっちしてるのを偶然見てしまった
あれはつまり二人は恋人になったってことなんだよね…
じゃあどうして二人はいつもどおりなの？
どうして私に秘密で付き合ってるの？私は二人にとってそんなものなの…？
愛ちゃん？どこか調子悪いの？
え？全然！元気だけど！

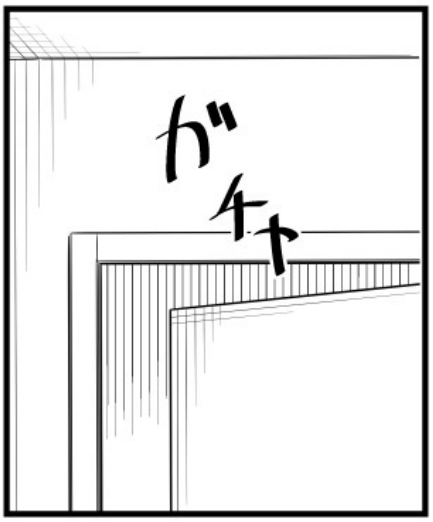

よかった〜今日は
久しぶりに愛ちゃんと
遊べるから楽しみ
だったんだ〜！
!!
ぎゅっ
ふっふっふ
悪いね健太郎〜
アリサは私と
一緒のほうが
楽しいって〜
あ？
もぉ〜〜〜
三人一緒が
一番楽しいに
決まってるでしょ
でも…健太郎は
有彩が一番だから…
ぎゅ〜
ぎゅ〜。


あらみんな
おかえり〜
お母さん！
ただいま〜
有彩
なに〜三人
くっついちゃって
いつまでも仲良し
なのね〜
///
そうだ アリちゃん
今日はお母さんの
買い物つきあって
くれないかしら〜
ほら帰りに何でも
食べさせてあげる
から〜
え〜今日は
三人で遊び
たいのに…
むっ…
それなら…
やった〜決まりね！
早く行きましょ〜
ぎゅっ
わ〜〜ごめん
ケンちゃん愛ちゃん
また明日ね〜〜〜
わ〜
見事に
拐われたな…
有彩のお母さんって
顔は有彩と似てるけど
有彩と違って
すごいアグレッシブよね

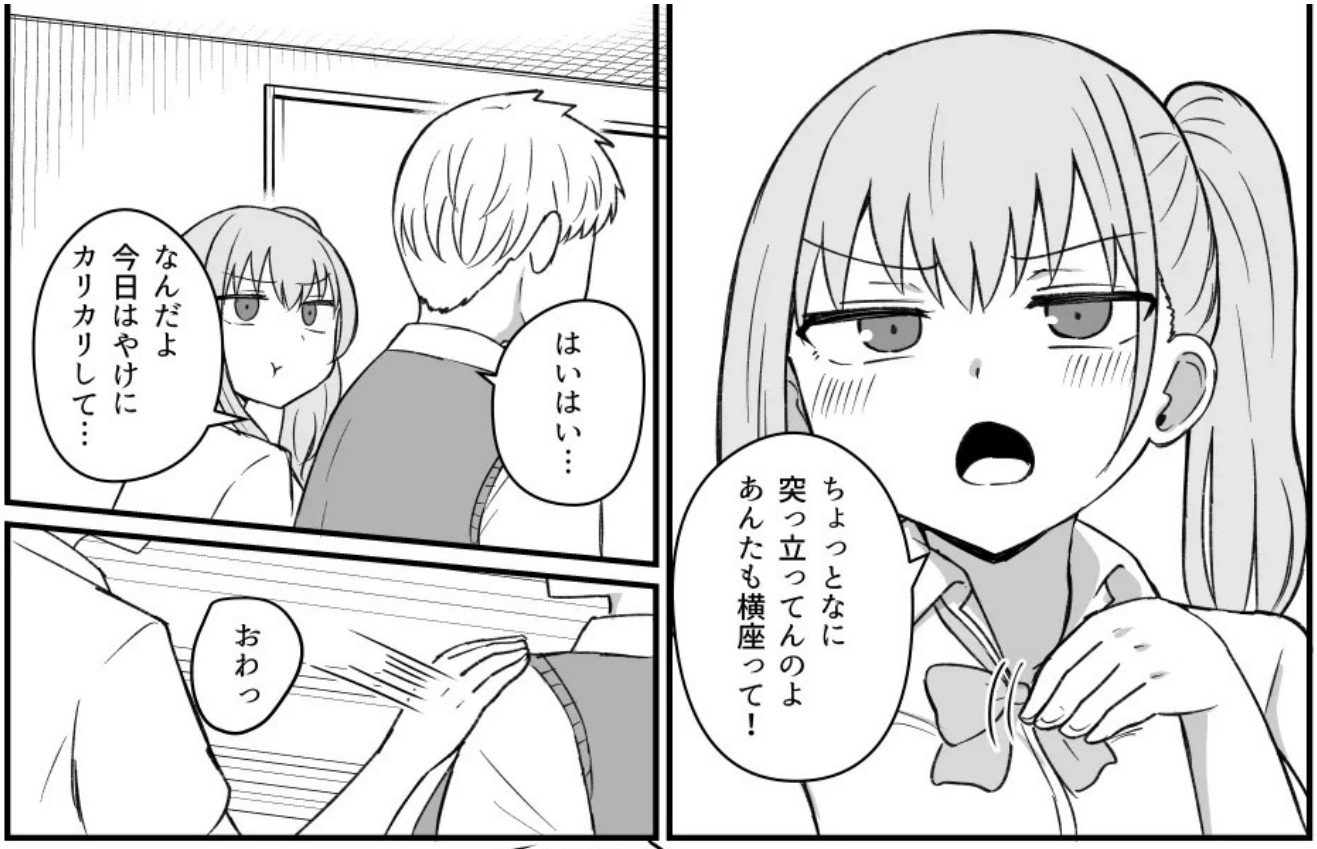

えっと…有彩
いなくなっちゃったけど
愛はどうする…？
はぁ？
なにそれ
私だけだったら
家にあげたくない
ってわけ？

そんなこと
言ってないだろ！
ったく早くあがれよ！
はいはい
ちょっと涼んだら
すぐ帰るから～

……

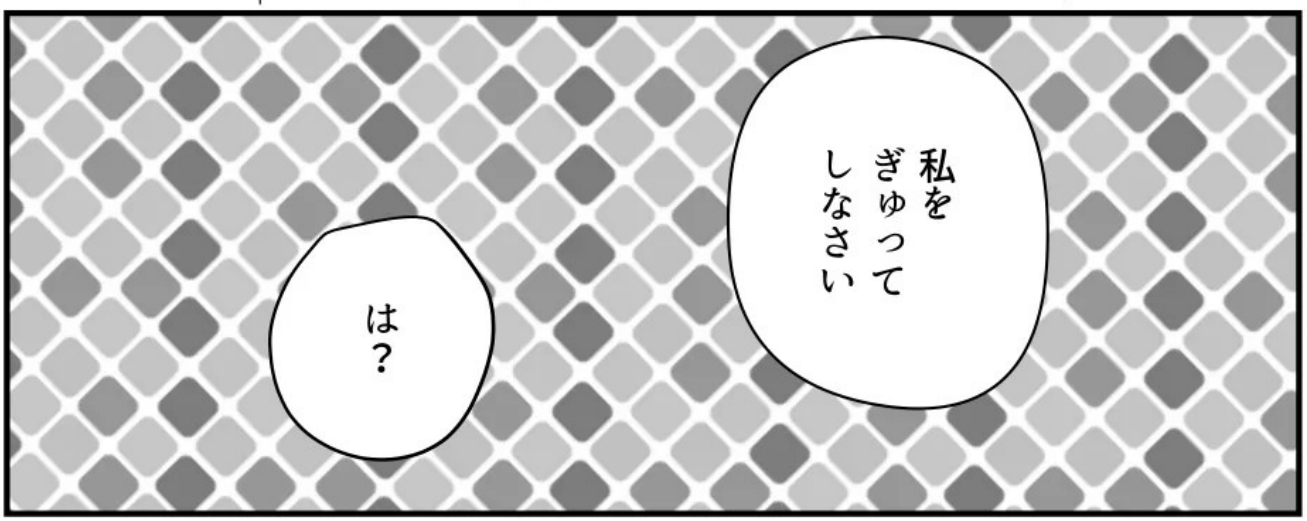

ガチャ

私ベッド
座る～
おい勝手に…


ちょっとなに
突っ立ってんのよ
あんたも横座って！
はいはい…
なんだよ
今日はやけに
カリカリして…
おわっ

愛…？

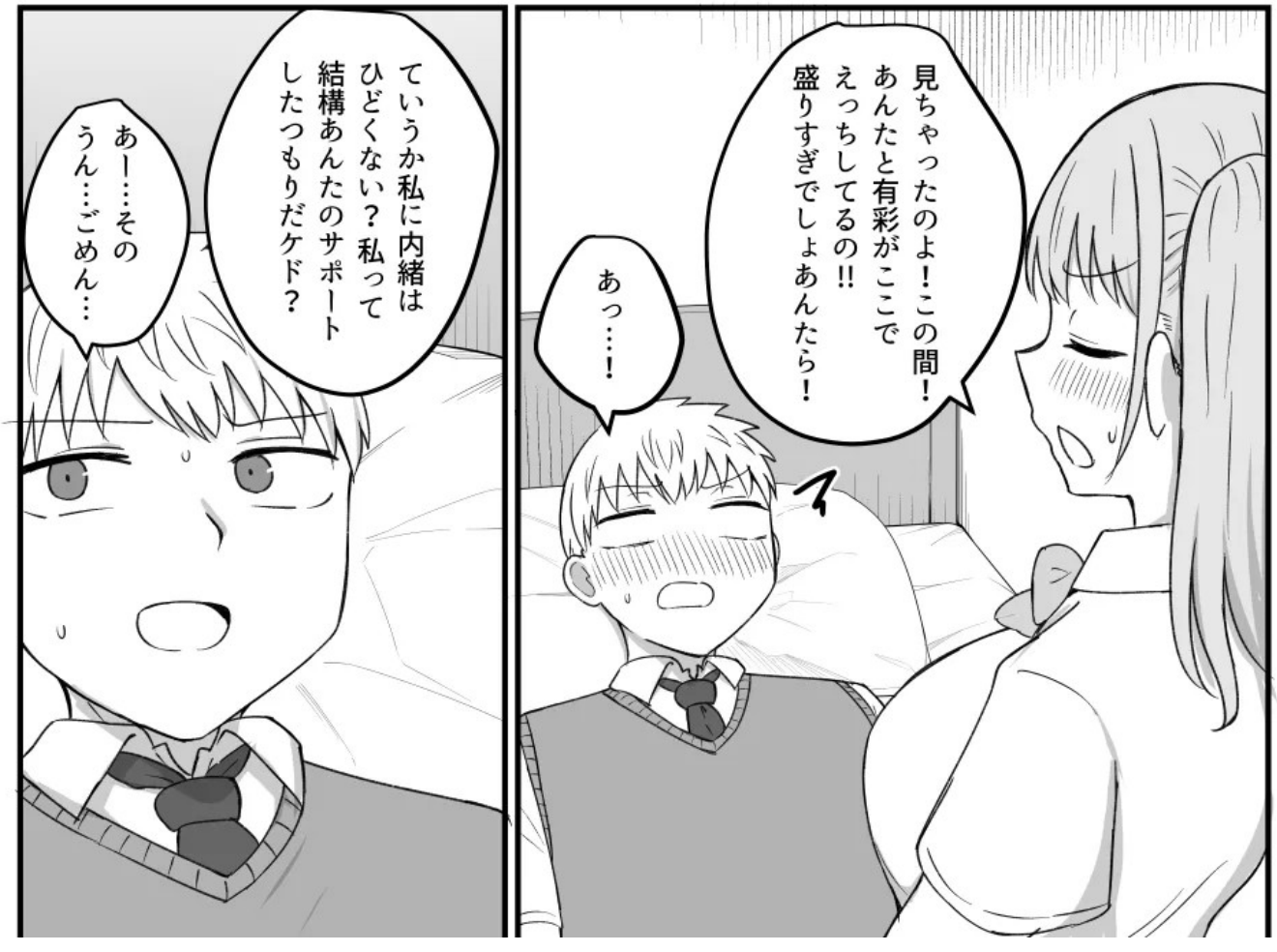
なんなんだよ!?
急に押し倒して…
ジー
……


私を
ぎゅって
しなさい
は？

なんだこれ…
新しい遊びか？
むぅ……

嫌になるくらい
ドキドキしないわね
まったく…!!
はあ？
わけわかんねー
んだけど…

ま有彩と付き合ってる
んだから私でドキドキ
しなくて安心だけど
はあ
えっ!? なんで
俺と有彩が
付き合ってるって!?


見ちゃったのよ！この間！
あんたと有彩がここで
えっちしてるの!!
盛りすぎでしょあんたら！
あっ…！
ていうか私に内緒は
ひどくない？私って
結構あんたのサポート
したつもりだケド？
あー…そのうん…ごめん…

は？何
その反応
もしかしてまだ
何か隠してるの？
なに？
言いなさいよ

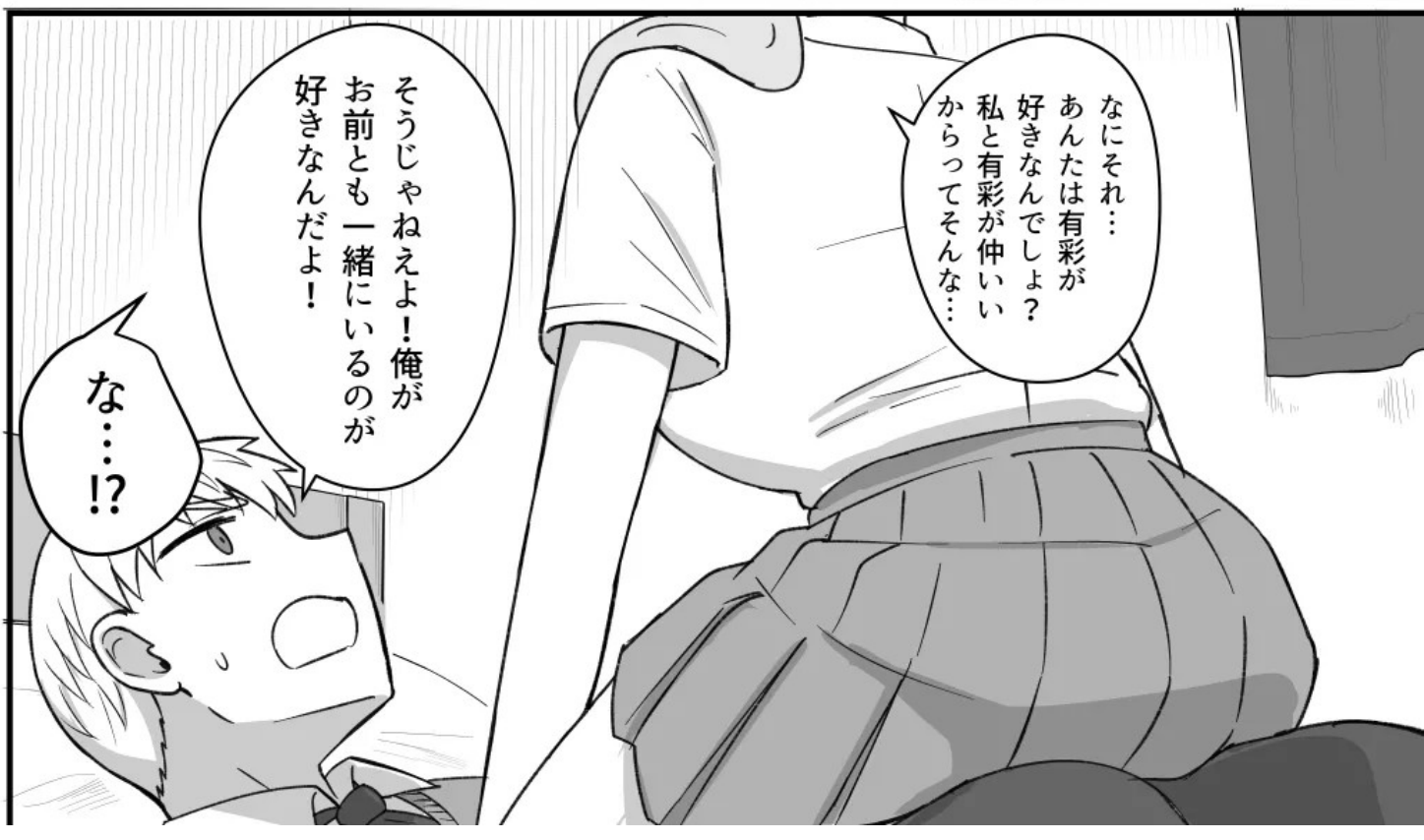
はあああああ!?
恋人になったんじゃ
なくてセックスしてた
だけだった!?
かあああ
そそ…それって
セフレってこと!?

最低!!性欲だけで
有彩とあんなこと
するだなんて!!
バカ！アホ!!
俺だって嫌だったけど
有彩がすごい迫ってきて
しょうがなかったんだよ!!

告白したらどっちにしろ
今まで通りの三人で
いられないかもって
思ったからで…

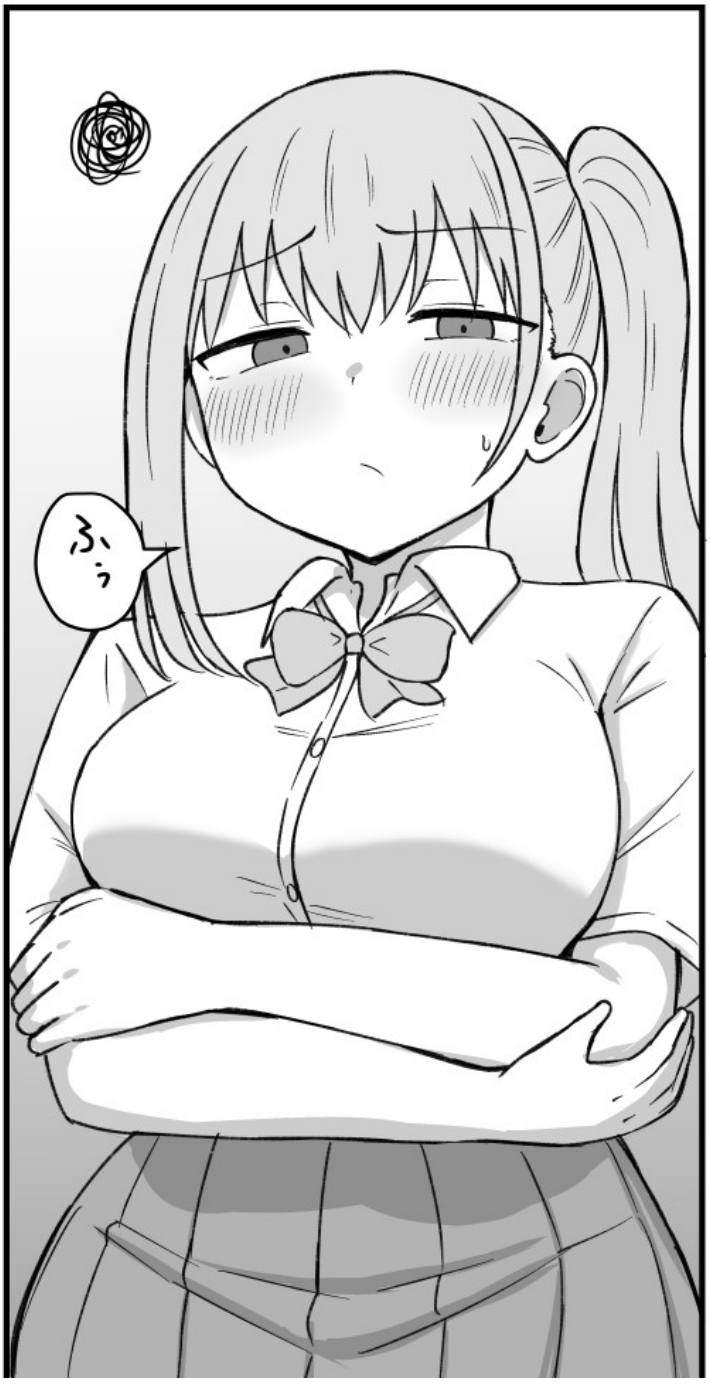
そもそもあんたが
日和らずさっさと
有彩に告白してれば
済んだ話でしょ!!
いや…
それは…

え?


なにそれ…
あんたは有彩が
好きなんでしょ?
私と有彩が仲いい
からってそんな…
そうじゃねえよ!俺が
お前とも一緒にいるのが
好きなんだよ!
な…!?

はぁ～～
呆れた
それでうだうだ
悩んだ結果アリサと
セフレになってちゃ
世話ないわね
いや俺だって
一応告白しようと
したんだけどさ…！

分かったわあんたが
そんな腑抜けなら
私が終わらせてあげる
え？


ふぅ

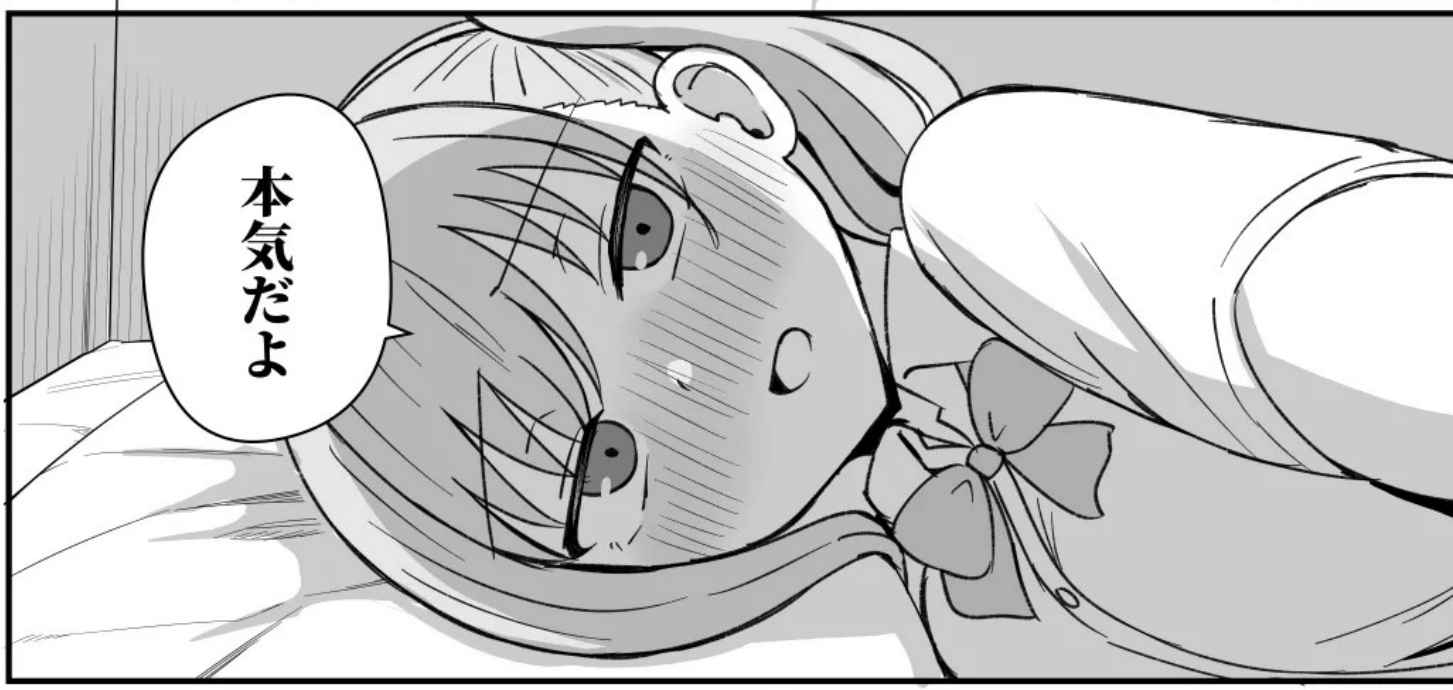
このぬるま湯な関係を
ゴゴゴゴ
愛!?
一体何を…!?

ん…

好きだよ
健太郎

愛!?
それって―
むぐっ
ちゅっ
ちゅっ
ぷっ
ん…っ
れろ
はぁ
これで私のことも
ただの幼馴染じゃ
なくなったでしょ？

あはは～流石にドキドキした？
おま…そういう冗談はホントにやめろって…


本気だよ

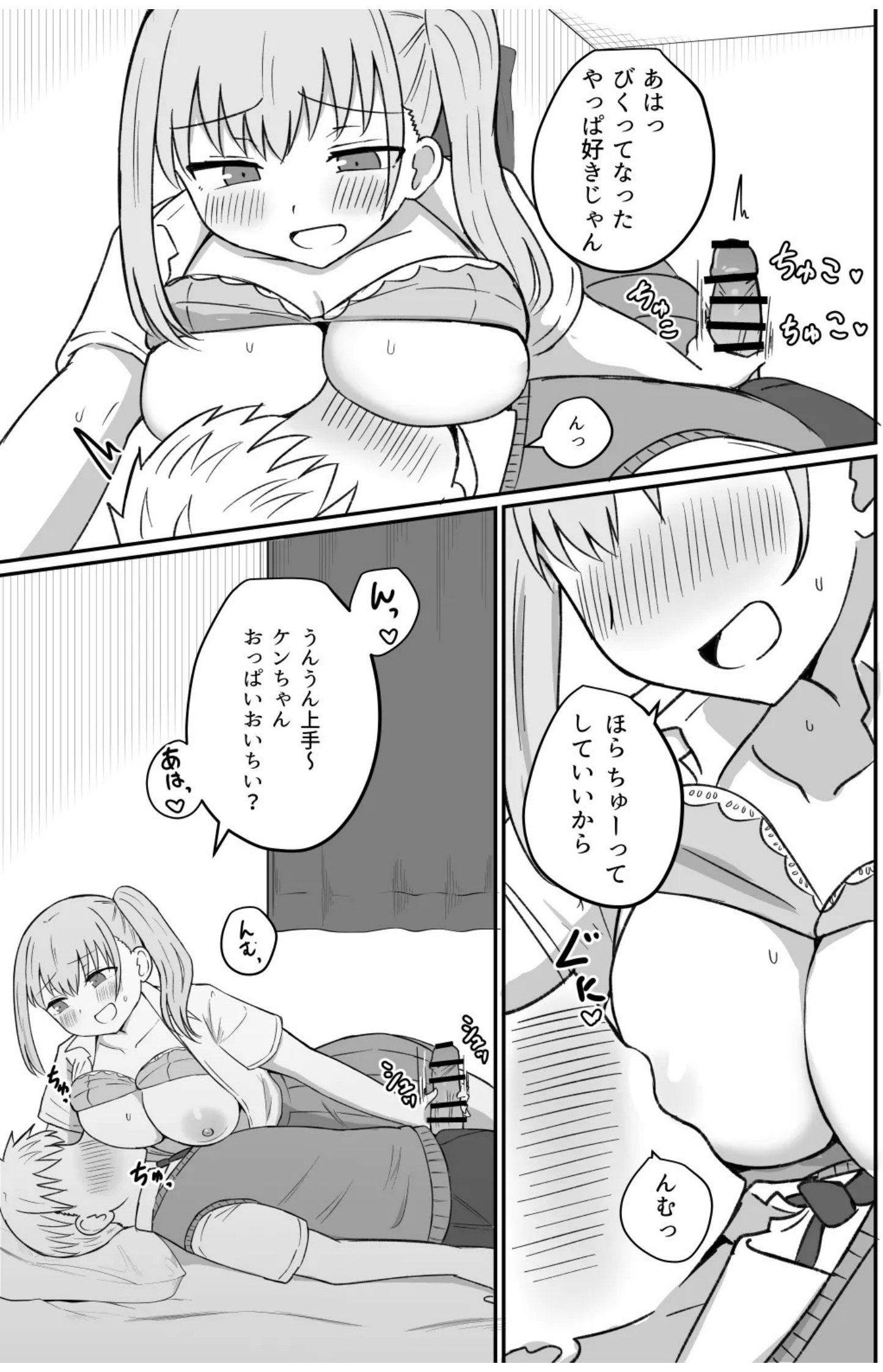
私はあんたのこと男として見てるのずっと前から
こんな女の子と今まで通り友達でいられる？

あんたはもう
決めるしかない
私をふって
有彩に告るか
それとも…
有彩を諦めて
私と恋人に
なっちゃうか

愛ッ
そこは！
さわ
さわ
あはっ
かたく
しちゃった？
ぐに
ぐに。
もう有彩とも
してるんだし
私としても
問題ないよね
いやっ
問題しか
ないだろっ
カチャ
カチャ
は～い
おちんちん
出しちゃうね～
はぁ
はぁ
っ!!
ビンッ

愛っ
待ってー
もう
待たない
んっ
んっ
う…
あ、
ビクン
ねえ有彩のときと
どっちが気持ちいい？
そんなの…
言えるわけ…
んちゅ
んちゅ

分かった分かった
健太郎はこれが
大好きだもんね～
ばっ
ほら大好きな
おっぱいだよ
たゆん

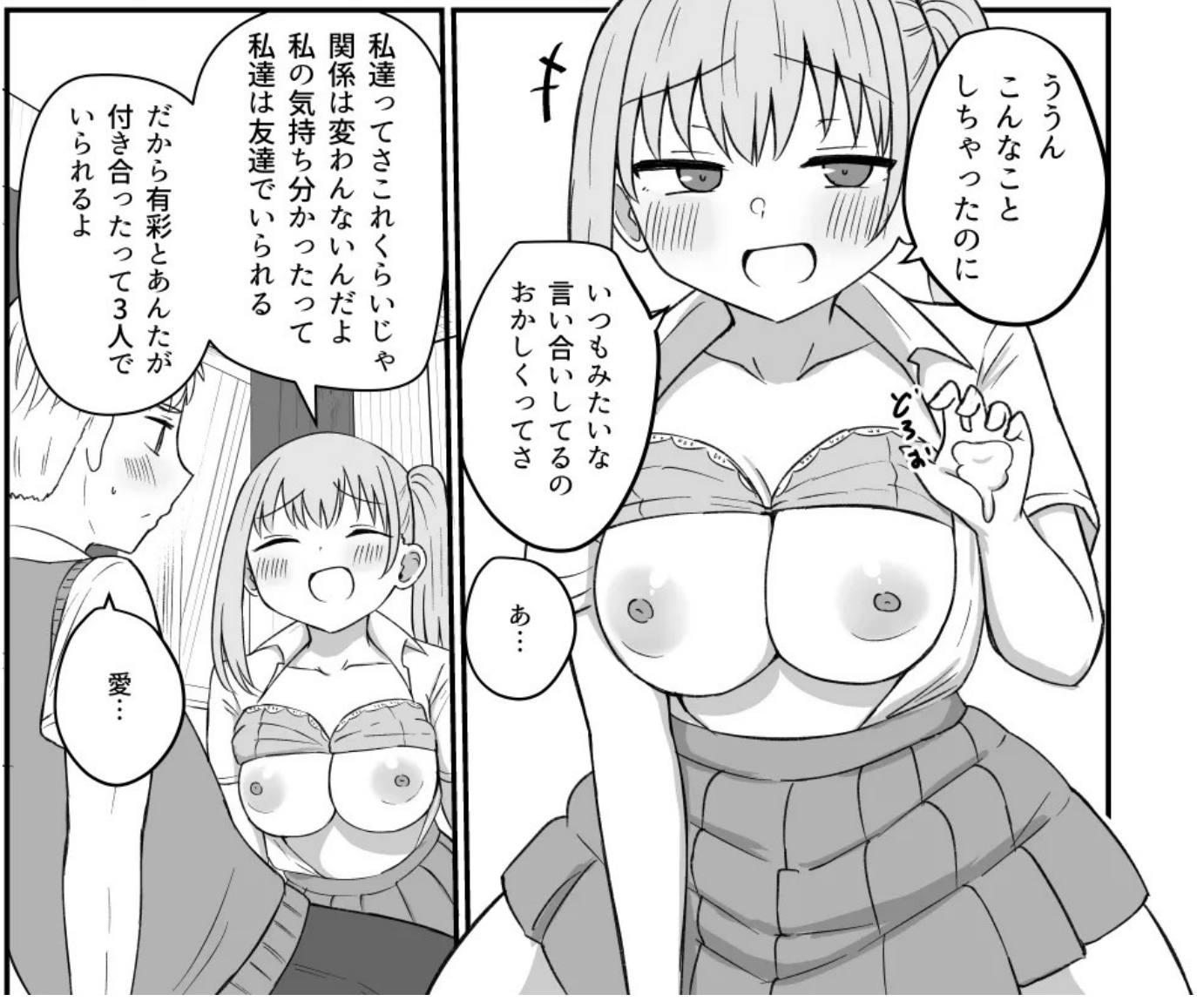

あはっ
びくってなった
やっぱ好きじゃん
ちゅこ♡
ちゅこ
ちゅこ♡
んっ
ほらちゅーって
していいから
ズボ♡
んむっ
んっ♡
うんうん上手〜
ケンちゃん
おっぱいおいちい？
あは♡
んむ♡
ちゅ♡
ちゅ♡

もみっ
ちょっ
勝手に
揉むなっ♡
むにっ♡
あっそれ
ダメっ♡
ちゅ
ちゅー
イくっ♡
ちゅ♡
むにぃ
びゅるるる

ちゅぷ
ぷは
イッちゃったね…
好きでもない相手
なのに情けな〜い
はあ
はあ
どろぉ
愛だって揉まれて
すぐイッたくせに
何を得意げに…

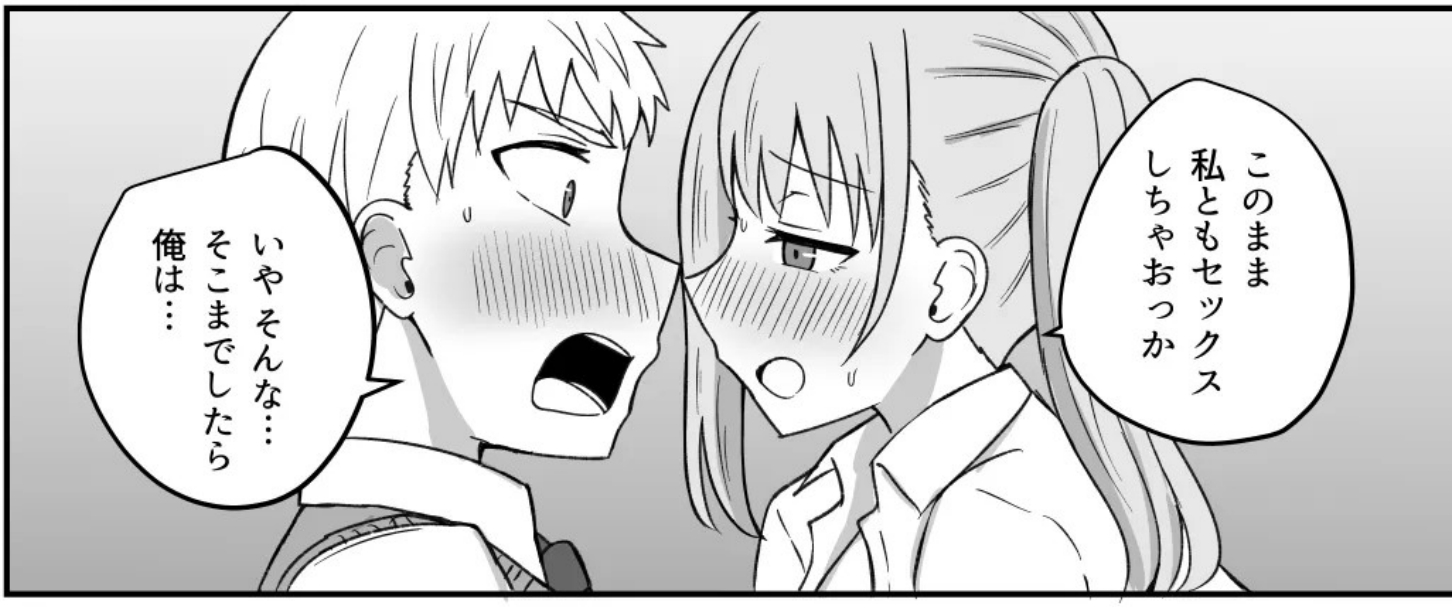
良いでしょ私は！
あんたが胸揉む
からでしょーが!!
俺だってあんだけ
擦られりゃ出るの
仕方ないからな!!
生理現象だ！
はぁ〜あんなに
おっぱい吸っておいて
そんなこと言うの!?

はぁ…
まったく
…ふふっ
あははっ
なんだよ笑って…
バカにしてるのか


ううん
こんなこと
しちゃったのに
いつもみたいな
言い合いしてるの
おかしくってさ
あ…
私達ってさこれくらいじゃ
関係は変わんないんだよ
私の気持ち分かったって
私達は友達でいられる
だから有彩とあんたが
付き合ったって3人で
いられるよ
愛…

それに私だったらセフレでもいいし
おいっ
ふにっ
ふにっ
よくねえだろ！お前俺のこと好きなんだろ？だったらそんな…
ごごご
好きだからだよ
どんな形でも好きな男の子とえっちしたいよ

健太郎の
おちんちん
まだ大きいね…
ビクッ


このまま
私ともセックス
しちゃおっか
いや
そんな…
そこまでしたら
俺は…

有彩と付き合う
前の今ならまだ
浮気にまらないよ？
一回だけ…
いいよね…？

じゃあ…
挿れちゃうね
ぴと

ぬち、
んんっ♡
んあっ♡
ズブ
プッシ
ぬぷぷ…

ビク
ん…
お…
お…
愛っ！
大丈夫か？
あっだめ！
今動いちゃ…
ビクッ
ビクン

やだ、おしっこ…
あっ
でちゃう…いやぁ…
シュワアア

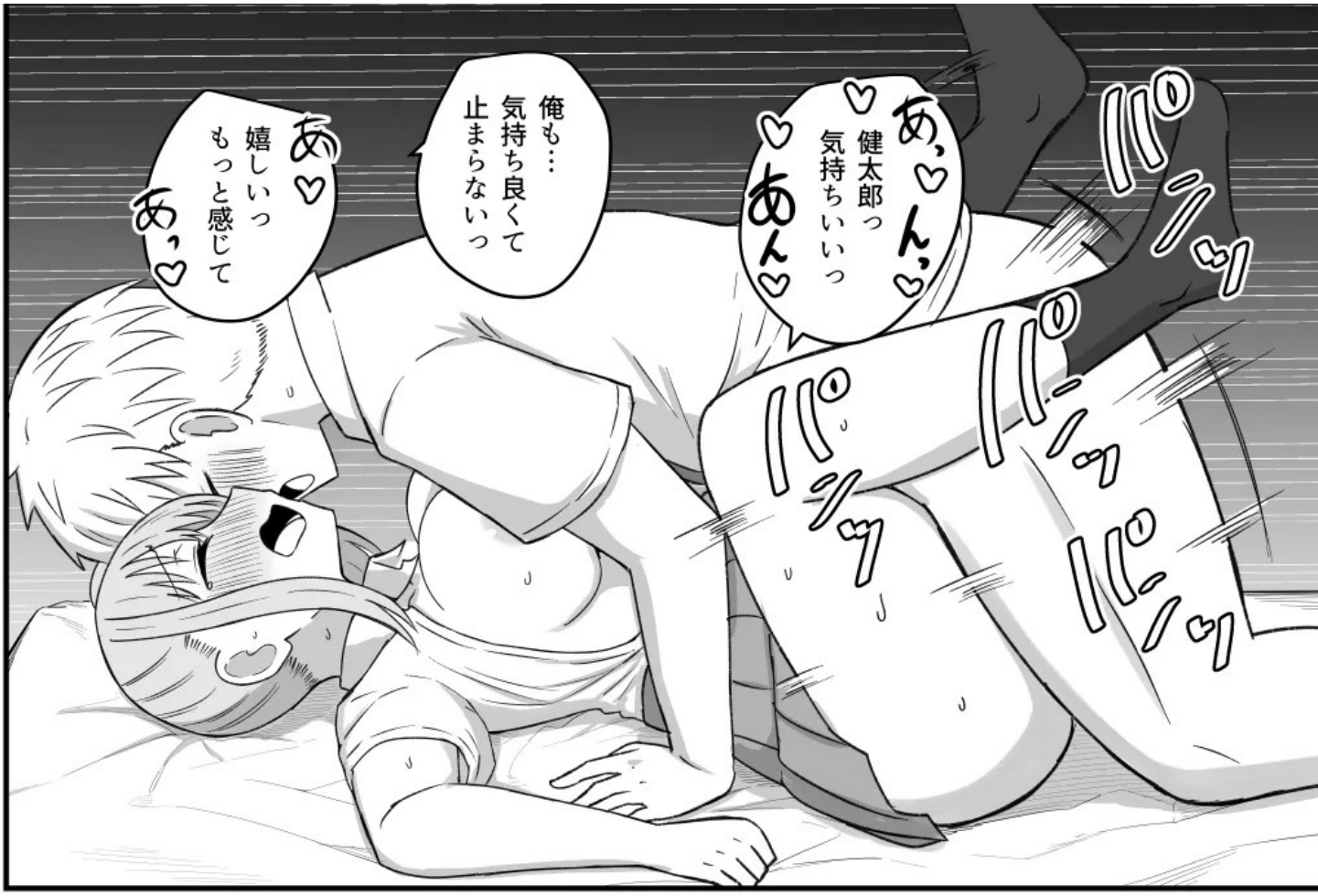
…と止まったな
ずぶぬれだ…
う…っ

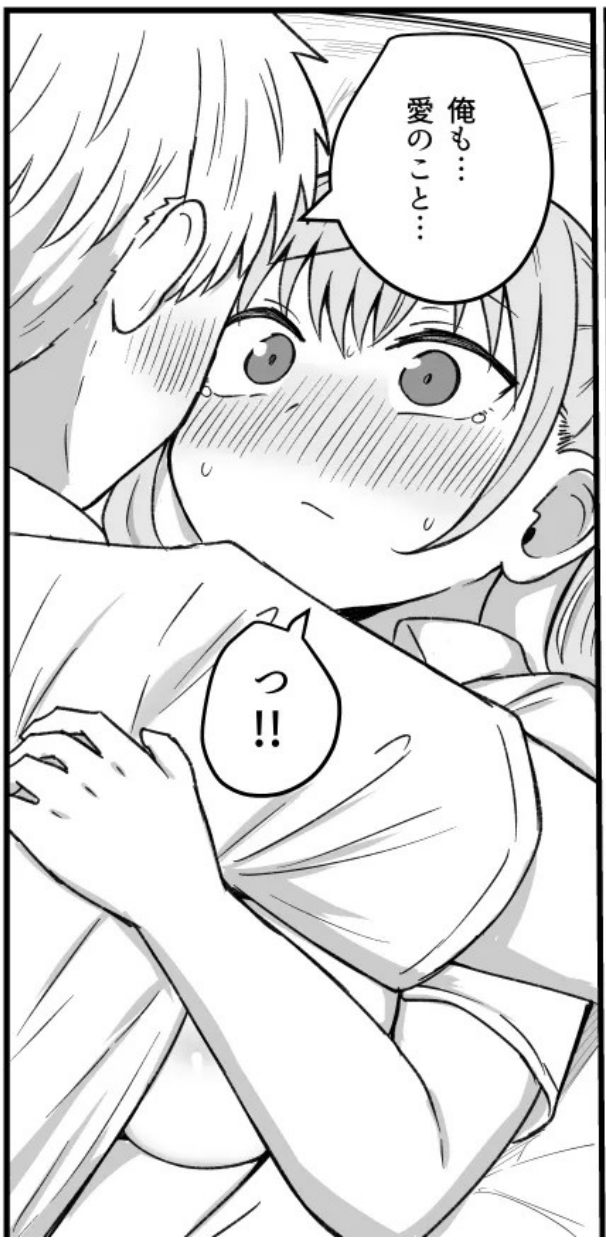
うぅ…
止まって…
チョロ…
シュオオ

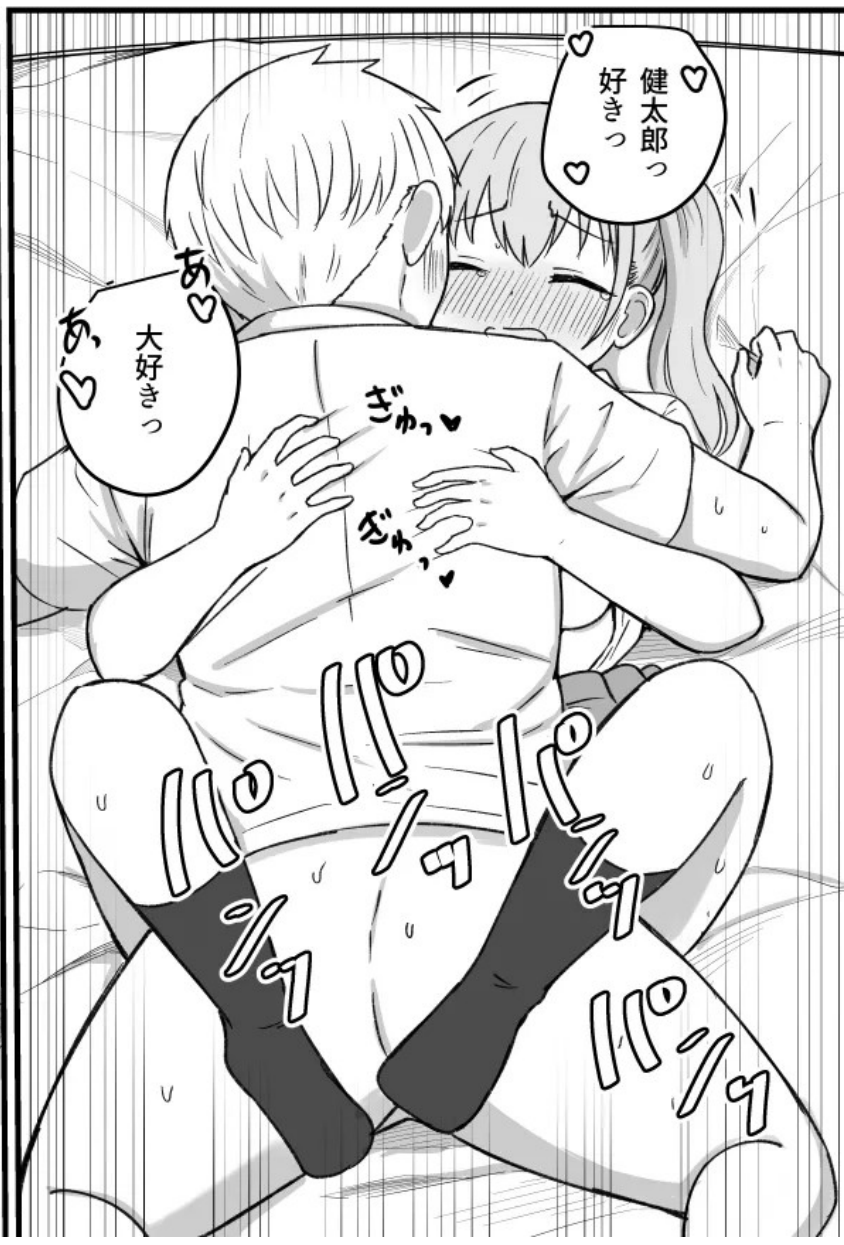
わぁぁん
うわぁぁん…
こんなはずじゃ
なかったのにぃ…
うぅ～
!?
せっかく健太郎に
思い出にしてもらおう
と思ったのに…
これじゃ嫌われちゃう…
そういえば
愛って有彩の前だと
お姉さんぶって
いたけど
昔はよく俺の前だけ
では弱音言ったり
甘えたりしてたっけ…
嫌いに
ならないよ
愛は
可愛いから
大丈夫
健太郎…？
そうだ…意識してない
だけで俺は昔から愛を
可愛いと思ってた

愛とのセックスは
ちゃんといい思い出に
したいから
はぁ
はぁ
健太郎…
ん♡
ちゅっ
ちゅー
んむ♡
あ…
ぐいっ
ぬぷ
ふたりとも
気持ちよくなれる
ように俺も頑張るよ

動くぞ…っ
んあ
ビクッ
パン
パン
だめ…っ
こんなのすぐ
イッちゃうっ
パンパンパン
あ
いいよ
たくさん
気持ちよくなって
お
あ
メキュ
メキュ
メキュ

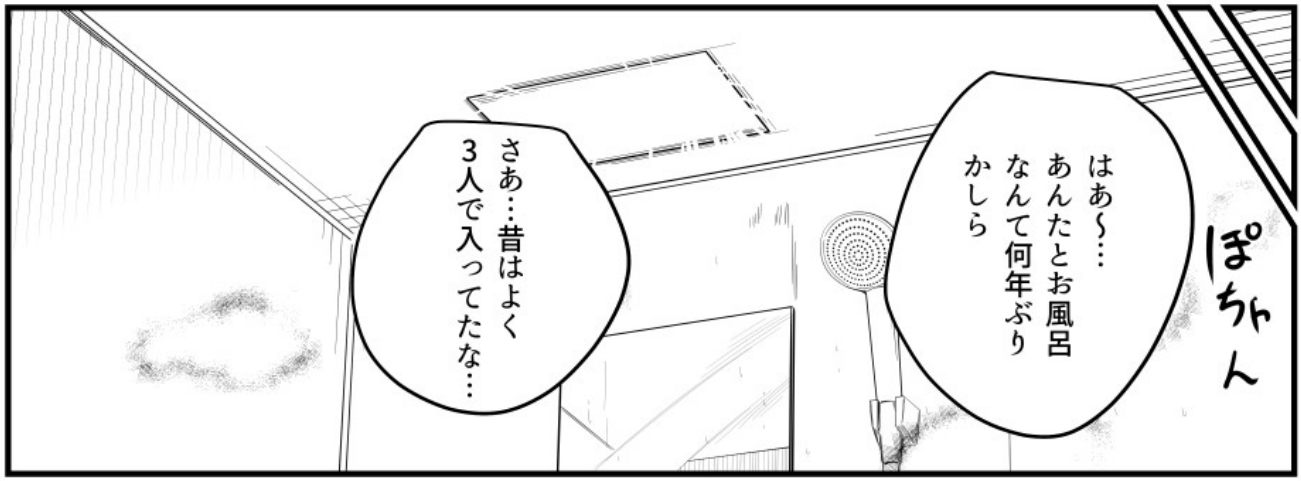

あ♡
健太郎っ
気持ちいいっ
あん♡
パンッ
パンッ
パンッ
俺も…
気持ち良くて
止まらないっ
あ♡
嬉しいっ
もっと感じて
あっ♡

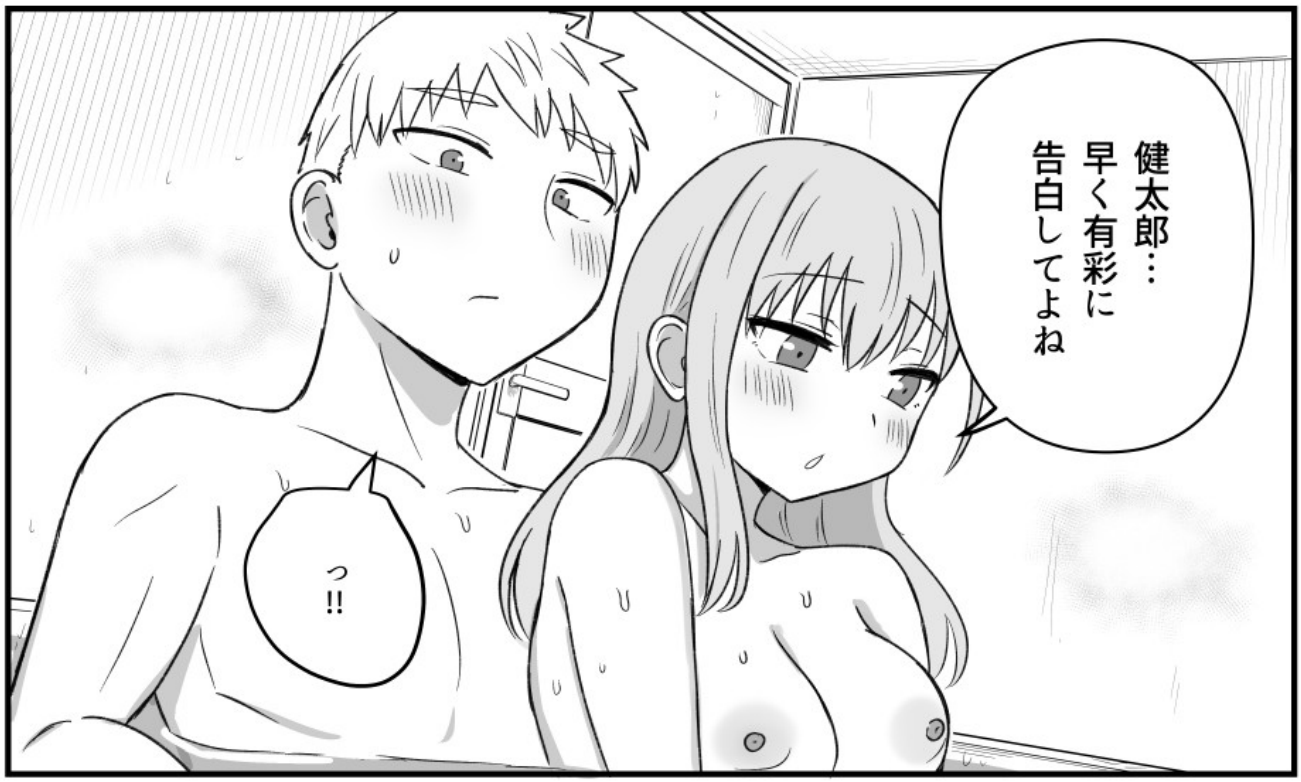

俺も…
愛のこと…
っ!!


健太郎っ
好きっ
あ♡
大好きっ
あ♡
ざゅっ♡
ざゅっ♡
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ

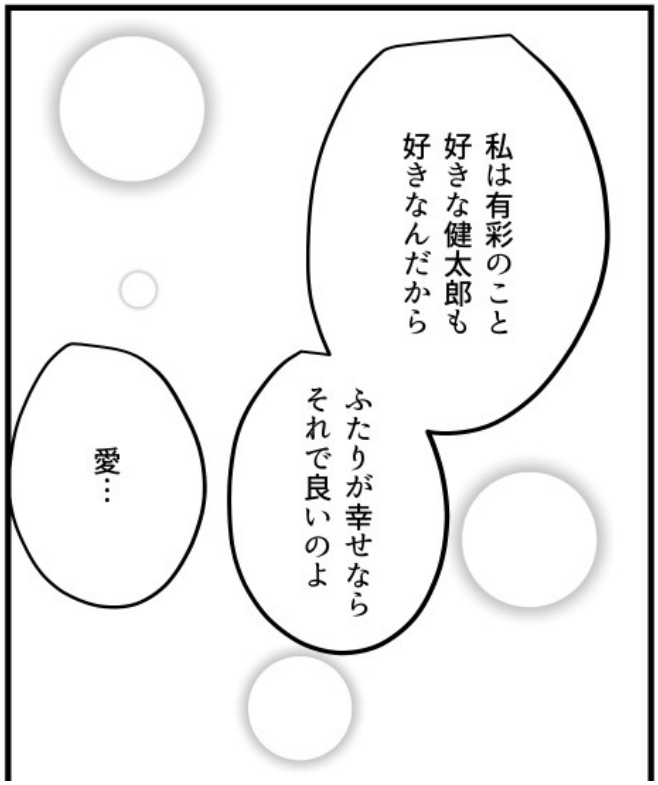
!!
ちゅ
はぁ
それは今
言っちゃダメ
嘘でも言ったら
許さないから…っ
愛…っ
くっ…もう
出る…ッ
出してっ
私の中で
イッて…!!
パン
パン
パン
パン

ビクッ
ビクビクビクビクッ
ビクッ
はあぁ


ぽちゃん
はあ〜…
あんたとお風呂
なんて何年ぶり
かしら
さあ…昔はよく
3人で入ってたな…

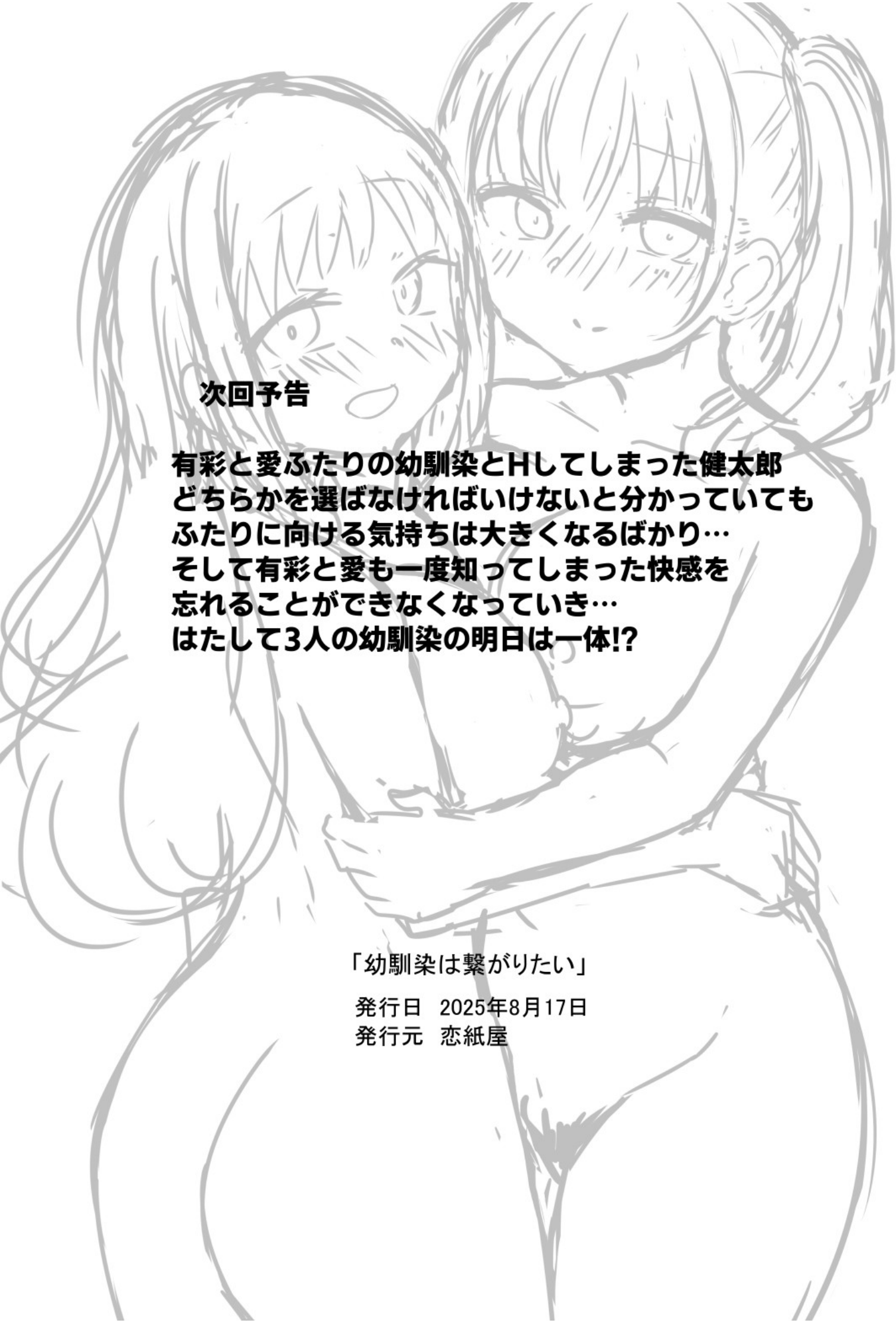

健太郎…
早く有彩に
告白してよね
っ!!

お前はいいのかよ…
俺のこと好き
なんだろ…?
だから良いに
決まってるでしょ


私は有彩のこと
好きな健太郎も
好きなんだから
ふたりが幸せなら
それで良いのよ
愛…

でも…あんたが
私のことも想って
くれるって言うなら
あと少しだけ
このままでいさせて

幼馴染は繋がりたい



次回予告

有彩と愛ふたりの幼馴染とHしてしまった健太郎
どちらかを選ばなければいけないと分かっていても
ふたりに向ける気持ちは大きくなるばかり…
そして有彩と愛も一度知ってしまった快感を
忘れることができなくなっていき…
はたして3人の幼馴染の明日は一体!?

「幼馴染は繋がりたい」

発行日　2025年8月17日
発行元　恋紙屋

恋紙屋